

# 令和 3 年度 山田集会所他 2 件トイレ改修工事

意 匠

図面番号	図 面 名 称	縮尺(A2)
	表紙・図面リスト	N.S
	図面リスト	N.S
A-01	特記仕様書： 共通事項・仮設工事	N.S
A-02	改修特記仕様書（その 1 ）	N.S
A-03	改修特記仕様書（その 2 ）	N.S
	改修特記仕様書（その 3 ）	
A-04	改修特記仕様書（その 4 ）	N.S
A-05	改修特記仕様書（その 5 ）	N.S
	改修特記仕様書（その 6 ）	
	改修特記仕様書（その 7 ）	
	改修特記仕様書（その 8 ）	
A-06	山田集会所 附近見取図・配置図	1:200
A-07	山田集会所 平面図（現況・改修）	1:100
A-08	山田集会所 トイレ（現況）平面詳細図・展開図	1:50
A-09	山田集会所 トイレ（改修）平面詳細図・展開図	1:50

図面番号	図 面 名 称	縮尺(A2)
A-10	梶坊集会所 附近見取図・配置図	1:250
A-11	梶坊集会所 平面図（現況・改修）	1:100
A-12	梶坊集会所 トイレ（現況）平面詳細図・展開図	1:50
A-13	梶坊集会所 トイレ（改修）平面詳細図・展開図	1:50
A-14	迫間中央集会所 附近見取図・配置図	1:100
A-15	迫間中央集会所 平面図（現況・改修）	1:100
A-16	迫間中央集会所 トイレ(現況)平面詳細図・展開図	1:50
A-17	迫間中央集会所 トイレ(改修)平面詳細図・展開図	1:50

電 気 設 備

図面番号	図 面 名 称	縮尺(A2)
E-01	電気設備特記仕様書	N.S
E-02	山田集会所 電気設備	1:100
E-03	梶坊集会所 電気設備図	1:100
E-04	迫間中央集会所 電気設備図	1:100

機 械 設 備

図面番号	図 面 名 称	縮尺(A2)
M-01	機械設備特記仕様書-1	N.S
M-02	機械設備特記仕様書-2	N.S
M-03	山田集会所 附近見取図・配置図	1:200
M-04	山田集会所 平面図（現況・改修）	1:100
M-05	山田集会所 トイレ平面詳細図	1:100
M-06	山田集会所 浄化槽詳細図	1:30
M-07	梶坊集会所 附近見取図・配置図	1:200
M-08	梶坊集会所 平面図（現況・改修）	1:100
M-09	梶坊集会所 トイレ平面詳細図	1:50
M-10	梶坊集会所 浄化槽詳細図	1:30
M-11	迫間中央集会所 附近見取図・配置図	1:100
M-12	迫間中央集会所 平面図（現況・改修）	1:100
M-13	迫間中央集会所 トイレ平面詳細図	1:50
M-14	迫間中央集会所 浄化槽詳細図	1:30





③ 防水改修工事	6 改質アスファルトシート防水	[3.4.2、3]										3 防水改修工事	8 塗膜防水	[3.6.2、3]										4 外壁改修工事（共通事項）	1 施工数量調査	[1.5.2、3]										3 浮き部改修工法	[4.1.4][4.2.2][4.4.10～16]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		防水層の種類												工法の種類												アンカーピンの本数 (本/m2)											注入口の箇所数 (箇所/m2)										注入量 (mL/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
						種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													



6

内装改修工事

15

特殊機能床

[6.8.2]

・帯電防止床シート

種類( )  
性能( )  
厚さ( )mm

・帯電防止床タイル

種類( )  
性能( )  
寸法( × )mm 厚さ( )mm

・視覚障害者用床タイル

視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による

種類( )  
形状( )

・耐動荷重性床シート

種類( )  
厚さ( )mm

・防滑性床シート

種類( )  
厚さ( )mm

・防滑性床タイル

種類( )  
寸法( × )mm 厚さ( )mm

[6.8.2]

材質の種類 ・軟質 ・硬質  
高さ(mm) 90 ・75 ・100  
厚さ(mm) 0.5以上

種類 ・単層品 ・積層品

色柄( )

厚さ(mm) 3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0

寸法(mm)( )

[6.8.2]

17

ゴム床タイル

18

カーペット敷き

[6.9.2、3] [表6.9.1]

・織じゅうたん

織り方	バイル形状
・ウィルトンカーベット ・ダブルフェースカーベット ・アキスミンスターカーベット	・カットバイル ・ループバイル ・カット/ループバイル

色柄( ・ 模様のない(無地) )  
バイル系の種類等  
無地の織りじゅうたんの種別( ・ A種 ・ B種 ・ C種 )  
・  
帯電性 ・適用する ・適用しない  
織じゅうたんの接合方法 ヒートボンド工法 ・  
下敷き材 反毛フェルト( JIS L 3204 ) の第2種2号 呼び厚さ8mm

・タフテッドカーベット

バイル形状	バイル長さ( mm )	工 法	帯電性
・カットバイル	・5～7 ・	・全面接着工法	・適用する
・ループバイル	・4～6 ・	・グリッパー工法	・適用しない
・カット、ループ併用	・		

下敷き材(グリッパー工法の場合)  
反毛フェルト( JIS L 3204 ) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・ニードルパンチカーベット

厚さ( mm ) ( )  
帯電性 ・適用する ・適用しない

・タイルカーベット

バイルの形状	種 類	施工箇所	寸 法	総厚さ( mm )
ループバイル	・第一種 ・第二種		500×500 ・	6.5 ・
・カットバイル	・第一種 ・第二種		500×500 ・	6.5 ・
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		500×500 ・	6.5 ・

タイルカーベットの敷き方  
平場 市松敷き ・模様流し ・  
階段部分 模様流し ・市松敷き ・  
見切り、押え金物  
材質( )  
種類( )  
形状等 図示 ・

19

合成樹脂塗床

[6.10.2～3]

種別	施工箇所	工 法	仕 上 げ の 種 類
・厚膜型塗床材			平滑仕上げ
弾性ウレタン樹脂系塗床			・平滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材		・薄膜流し展べ工法	・平滑仕上げ
エポキシ樹脂系塗床		・厚膜流し展べ工法	・平滑仕上げ
・薄膜型塗床材		・樹脂砂外工法	平滑仕上げ

20

フローリング張り

[6.11.2～6]

・単層フローリング(フローリングボード1等)

工 法 ・釘留め工法( ・根太張り ・直張り )  
・接着工法  
樹種 なら ・  
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

・単層フローリング(フローリングブロック1等)

樹種 ・  
厚さ ・  
大きさ ・  
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

・複合フローリング

工 法 ・釘留め工法( ・根太張り ・直張り )  
・接着工法  
樹種 なら ・  
種別 ・A種 ・B種 ・C種  
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・  
接着工法の場合の裏面緩衝材 合成樹脂発泡シート  
・現場塗装仕上げ  
・ウレタン樹脂ワニス塗り  
・オイルステインの上、ワックス塗り  
・生地そのままワックス塗り

[6.12.2]

種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床：・KT- ・KT- ・KT- ・KT-K ・KT-N )  
下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.1による床組  
・ポリスチレンフォーム床下地( ノンフロン )

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

[6.13.2、3]

合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量  
・規制対象外 ・

・木質系セメント板 種類・厚さ( 図示 ・ )  
・繊維板 種類・厚さ( 図示 ・ )  
・パーティクルボード 種類・厚さ( 図示 ・ )  
・吸音材料 種類・厚さ( 図示 ・ )  
・せっこうボード 種類・厚さ( 図示 ・ )  
・普通合板  
・表板の樹種名 ・  
・板面の品質 ・  
・厚さ 図示 ・  
・接着の程度 ・1 類 ・2 類  
・防虫処理 ・行う ・行わない

・天然化粧合板  
・化粧板の樹種名 ・  
・厚さ 図示 ・  
・接着の程度 ・1 類 ・2 類  
・防虫処理 ・行う ・行わない

・特殊加工化粧合板  
・化粧加工の方法( ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ )  
・表面性能 ・  
・厚さ 図示  
・接着の程度 ・1 類 ・2 類  
・防虫処理 ・行う ・行わない

せっこうボード等の下地 図示  
遮音シール材 ・適用する( ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド )  
・適用しない

合板類の張付け B種 ・A種  
せっこうボードの目地工法 ・仕上表による ・

[6.14.2～3]

施工箇所	壁紙の種類類					防火性能	備 考
	紙	繊維	フラスチック	無題	その他		
近前中央集会所			○			・不燃 ○準不燃	
						・不燃 ・準不燃	
						・不燃 ・準不燃	
						・不燃 ・準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整の種別 R B種 ・  
コンクリート面の下地調整の種別 R B種 ・  
せっこうボード面の下地調整の種別 R B種 ・

材種 ○塩化ビニル製 ・アルミニウム製

[6.15.3、5、6]

モルタル ・現場調査材料  
(セメントは改修特記仕様書 8 - 2 コンクリート工事による)  
・既調査材料( )  
既製目地材 ・設ける 施工箇所( ) 形状( 図示 ・ )  
・設けない

床の目地  
・設ける  
目地割り 2 m2程度(最大目地間隔3 m程度 ・ )  
種類 押し目地 ・  
・設けない

・防水剤  
品質・性能 建築材料等品質性能表による  
試験方法 建築材料等品質性能表による

21

畳敷き

[6.12.2]

22

せっこうボード  
その他のボード  
及び合板張り

[6.13.2、3]

23

壁紙張り

[6.14.2～3]

24

天井見切り縁

25

モルタル塗り

[6.15.3、5、6]

26

タイル張り

伸縮調整目地の位置 床タイル( 縦、横とも4 m以内ごと ・図示 )  
床タイル以外( ・図示 ・ )  
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による

・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り  
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物		色		耐凍害性	耐滑り性	備考
		類	類	類	施 無 ゆ ゆ う	有 無	標 特 注	有 無	有 無	有 無	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする  
試験張り ・行う ・行わない  
見本焼き ・行う ・行わない

既製調査モルタル  
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。  
品質・性能 建築材料等品質性能表による  
試験方法 建築材料等品質性能表による

・既製調査目地材  
品質・性能 建築材料等品質性能表による  
試験方法 建築材料等品質性能表による

・有機系接着剤による質タイル(セラミックタイル)張り  
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物		色		耐凍害性	耐滑り性	備考
		類	類	類	施 無 ゆ ゆ う	有 無	標 特 注	有 無	有 無	有 無	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする  
試験張り ・行う ・行わない  
見本焼き ・行う ・行わない

内装タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量  
規制対象外 ・

種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系  
標準塗厚(mm) ・

[6.17.2、3]

27

セルフレベリング材  
塗り

7

塗装改修工事

1

材料

2

下地調整

3

錆止め塗料塗り

[7.3.2、3]

4

塗装

[7.4.2～7.14.2]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量  
規制対象外 ・  
・防火材料 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする  
・次の箇所を除き防火材料とする(箇所： )

[7.2.1～7]

塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲  
塗替え面積の30％・図示 ・  
既存さび止め塗料の鉛含有調査  
・行う( 箇所 ) ・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	R B種 ・	・R A種 ・R B種	-
鉄鋼面	R B種 ・	R A種	-
亜鉛めっき面	R B種 ・	R A種	-
亜鉛めっき面(鋼製建具等)	R B種 ・	R C種	-
モルタル、プラスター面	R B種 ・	・R A種 ・R B種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	R B種 ・	R A種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・R A種 ・R B種 ・R C種	・R A種 ・R B種	・行う ・行わない
コンクリート面( DP )	・R B種 ・R C種	R A種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	R B種 ・	・R A種 ・R B種	-

[7.3.2、3]

錆止め塗料塗りの種別

	塗 装 面		塗料の種別	工程の種別
	E P - G以外	塗替え	A種	C種 ・
鉄鋼面	E P - G以外	新規見え掛け	A種	A種 ・
		新規見え隠れ	A種	B種 ・
	E P - G	塗替え	B種 ・A種	C種 ・
		新規見え掛け	B種 ・A種	A種 ・
亜鉛めっき鋼面	E P - G以外	塗替え	A種 ・B種	C種 ・
		新規鋼製建具等	A種 ・B種	A種 ・
	E P - G	塗替え	C種	C種 ・
		新規鋼製建具等	C種	A種 ・

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め  
改修標準仕様書 表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする

合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め  
改修標準仕様書 表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする

・高日射反射率塗料塗り  
下地調整(改修標準仕様書 表7.2.2) ・R A種 ・R B種 ・R C種

工 程	塗料その他			塗付け量 ( kg/m2 )
	規格番号	規格名称	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種 ・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

10

I R O 建築設計

一級建築士事務所 三重県知事登録第1-2400号  
三重県志摩市阿児町鶴方1047-185  
TEL / FAX 0599-77-6625

工事名称  
令和3年度 山田集会所他2件トイレ改修工事

図面名称  
改修特記仕様書(その5)

印

設計日  
2021/08/07

訂正日  
\*\*\*\*  
\*\*\*\*

設計者  
一級建築士 (大臣)登録 第312989号  
迫間 正道

検印

縮尺  
(A2) N.S  
A3版は70.7%縮小

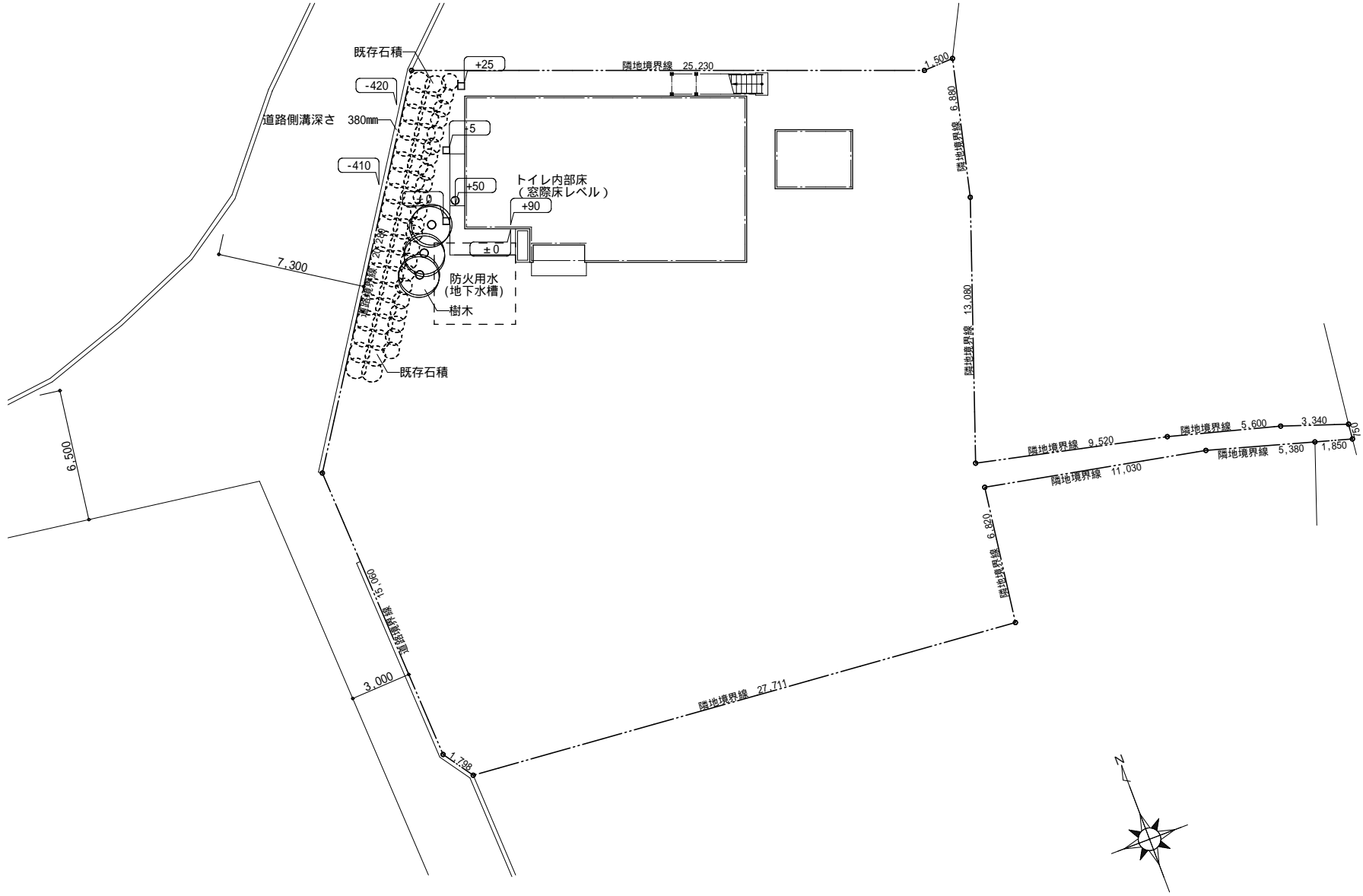
図面番号  
A-05

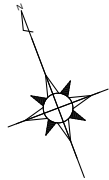





附近見取図


「志摩市都市計画基本図（白図）」を加工して作成  
A2出力時において、縮尺1/2500



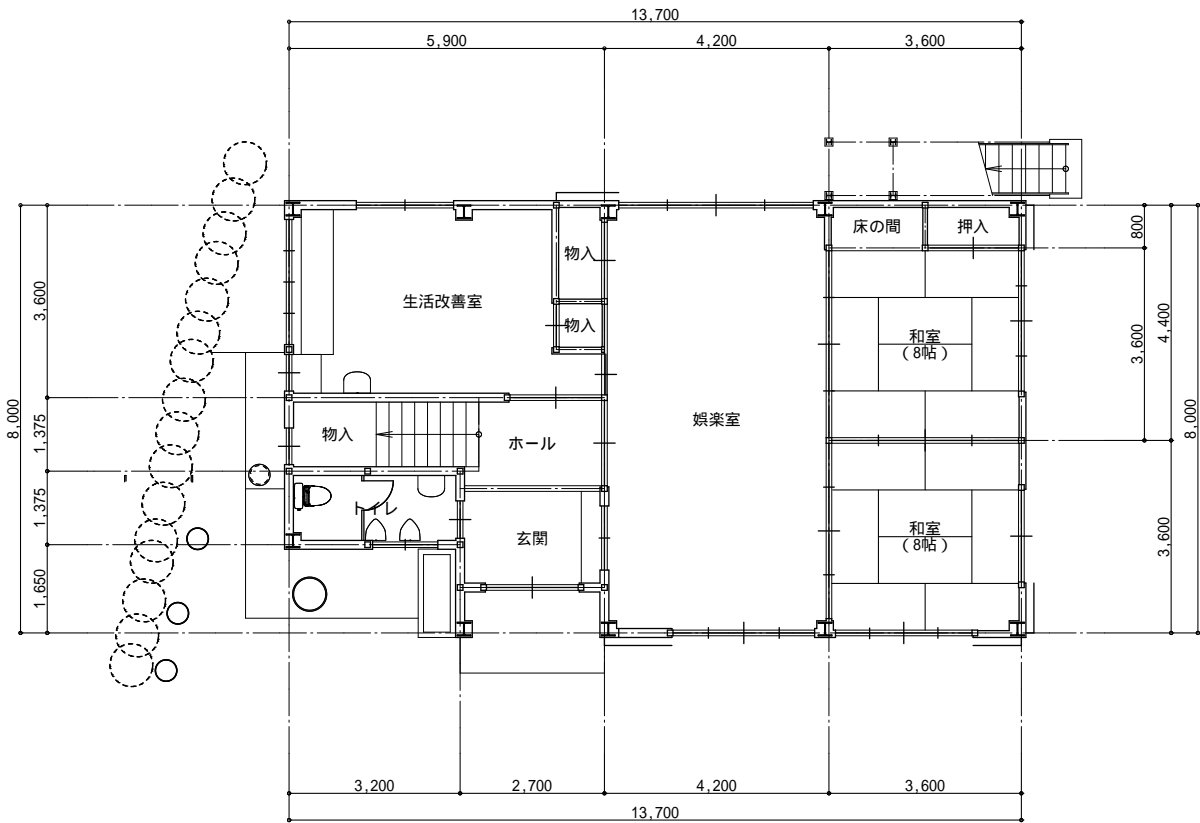




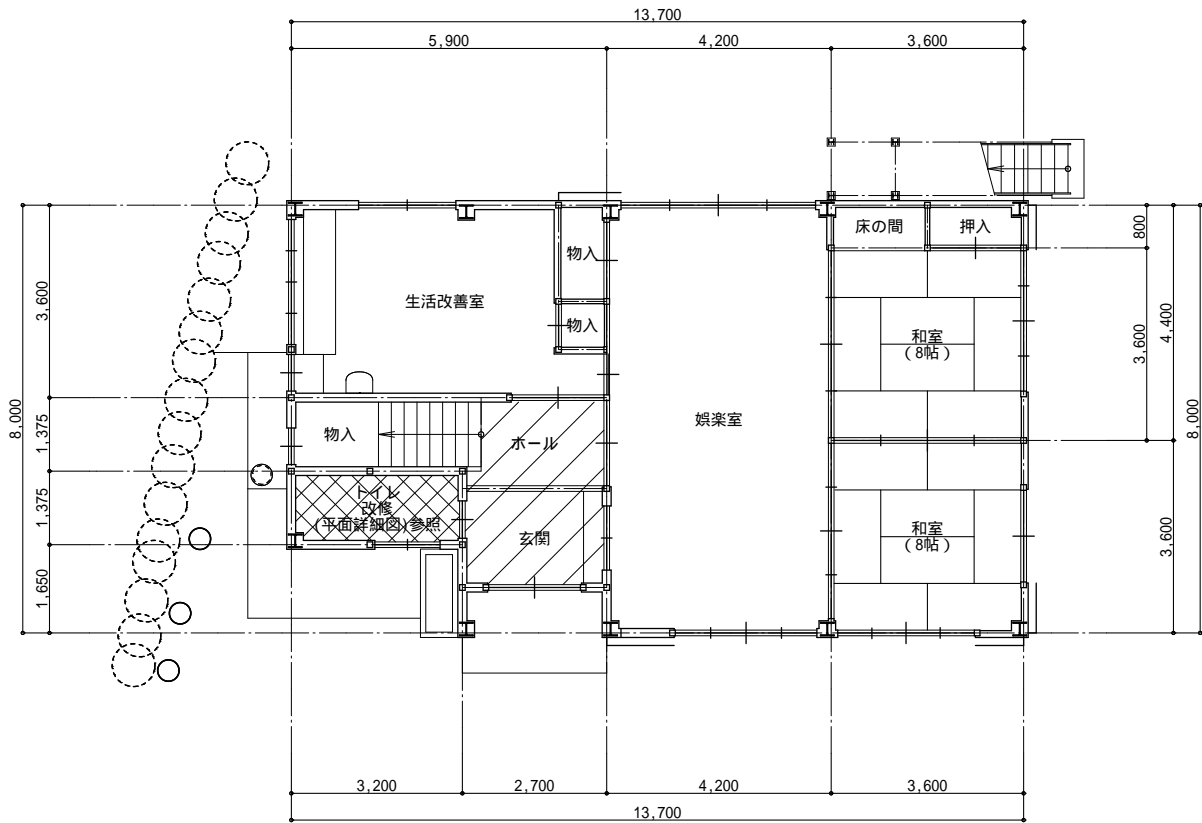
内部改修部分を示す。



搬入搬出用の床養生を示す。



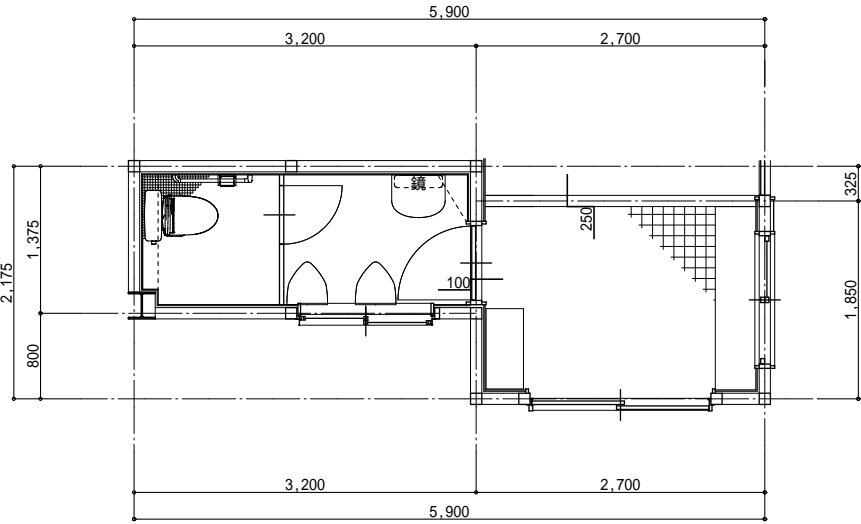
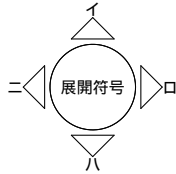
平面図 (現況) S:1/100



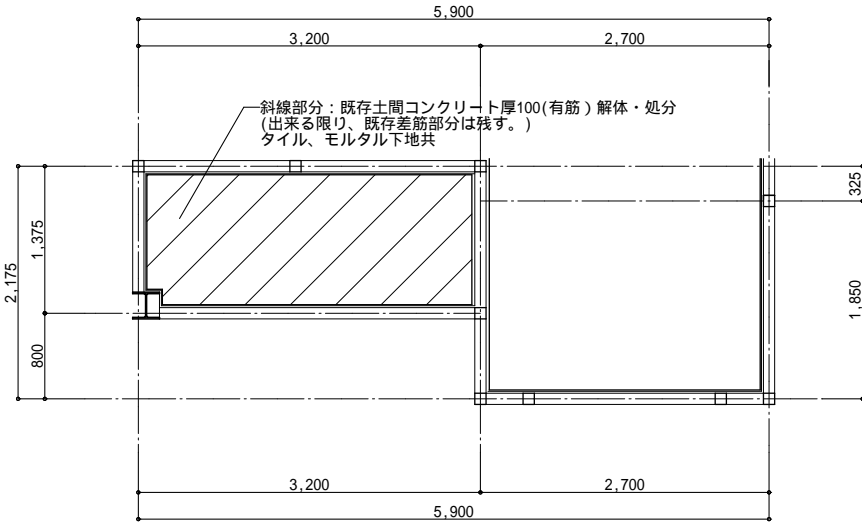
平面図 (改修) S:1/100

室 名	種 別	床	巾木	腰 壁	壁	天 井	備 考
トイレ	現 況	磁器質モザイクタイル張		磁器質100角タイル張 ラスシート下地	防火軒天井ボード 厚5 目透シ張	石膏ボード 厚9 目透シ張 EP塗	
	改 修	複層ビニル床シート 厚2.5(抗菌仕様) コンクリート金コテ張物下地		現況まま(器具取り外し跡補修)	現況まま(器具取り外し跡補修)	現況まま(器具取り外し跡補修)	面台、小便器、洋風便器

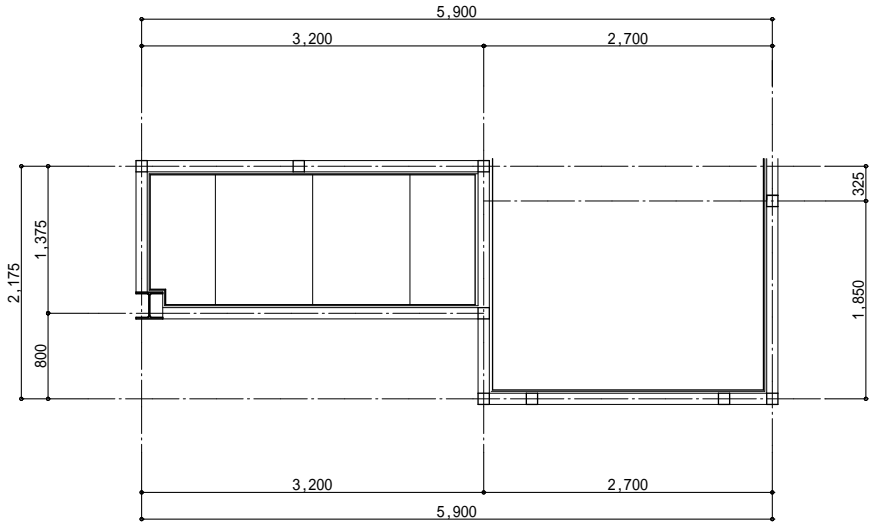




トイレ（現況）平面詳細図 S:1/50



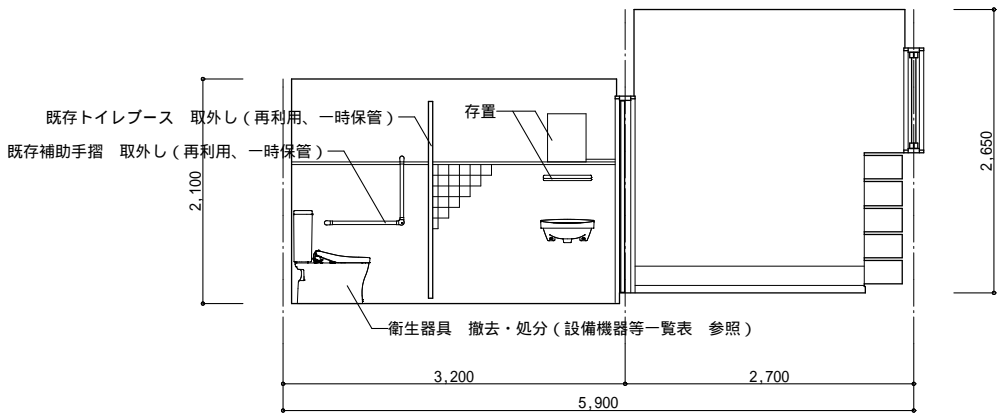
トイレ（現況）土間伏図 S:1/50



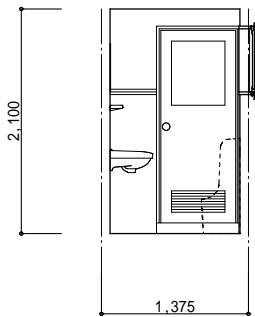
トイレ（現況）天井伏図 S:1/50

設備機器等一覧表

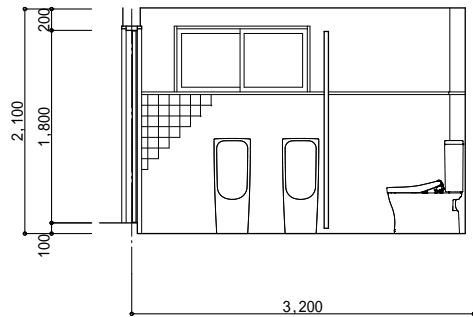
名 称	個数	工事内容			種別	
		撤去処分	取外一時保管	現況維持	建築工事	設備工事
洋便器	1	○				○
小便器	2	○				○
ペーパーホルダー	1	○				○
補助手摺	1		○			○
手洗器	1	○				○
鏡	1			○		
化粧棚（陶器）	1			○		
照明器具	1	○				○
換気扇	1			○		
トイレブース	1		○		○	



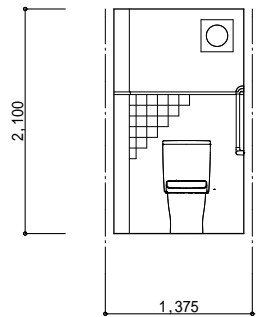
トイレ（現況）イ展開図 S:1/50



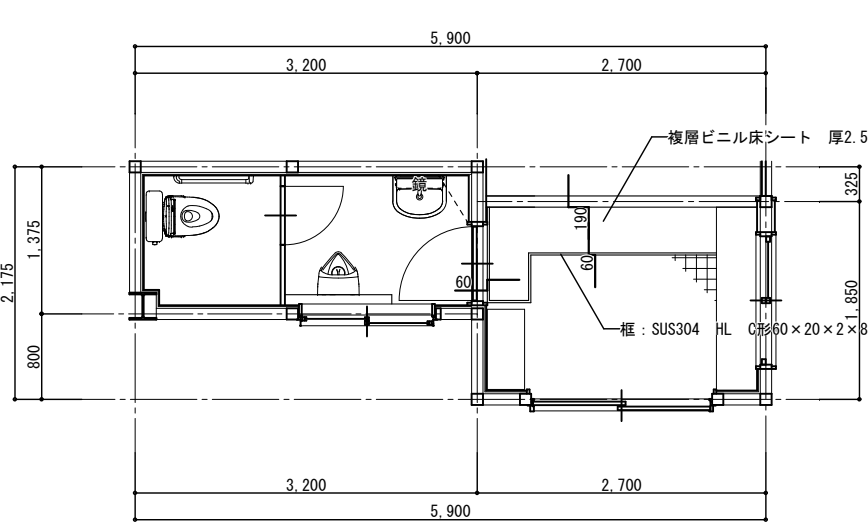
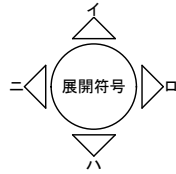
トイレ（現況）イ展開図 S:1/50



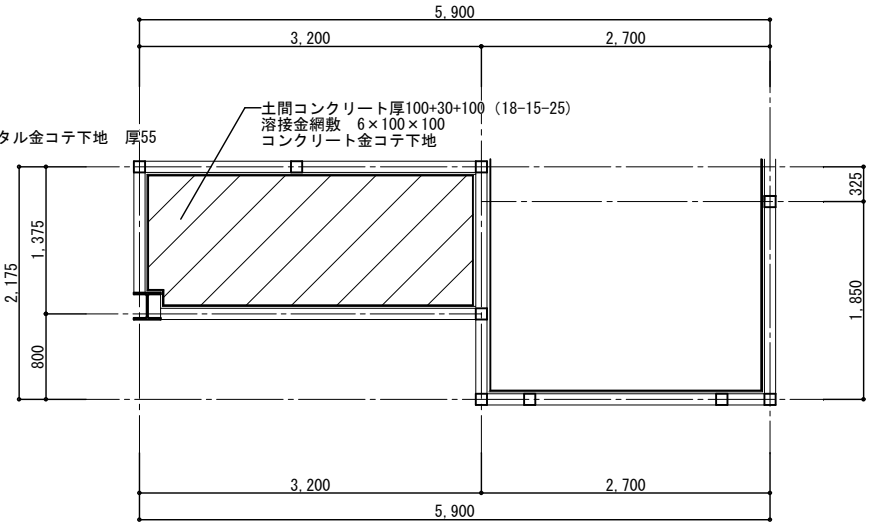
トイレ（現況）イ展開図 S:1/50



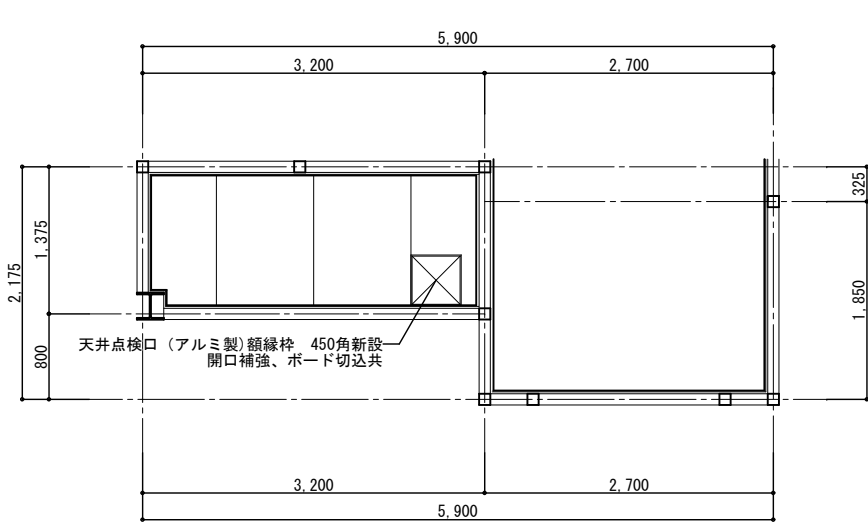
トイレ（現況）イ展開図 S:1/50



トイレ (改修) 平面詳細図 S:1/50



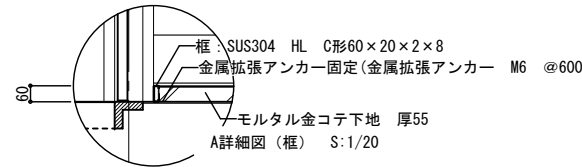
トイレ (改修) 土間伏図 S:1/50



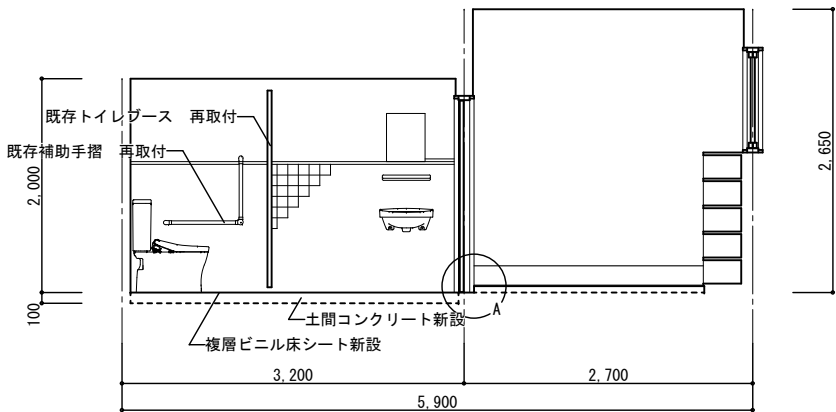
トイレ (改修) 天井伏図 S:1/50

設備機器等一覧表

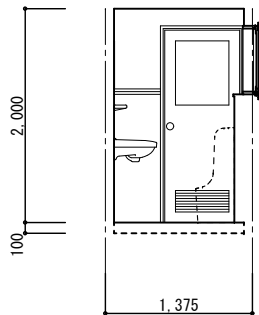
名 称	個数	工事内容			種別	
		新設	再取付	現況維持	建築工事	設備工事
洋便器	1	○				○
小便器	1	○				○
ペーパーホルダー	1	○				○
補助手摺	1		○			○
手洗器	1	○				○
鏡	1			○		
化粧棚 (陶器)	1			○		
照明器具	1	○				○
換気扇	1			○		
トイレブース	1		○		○	



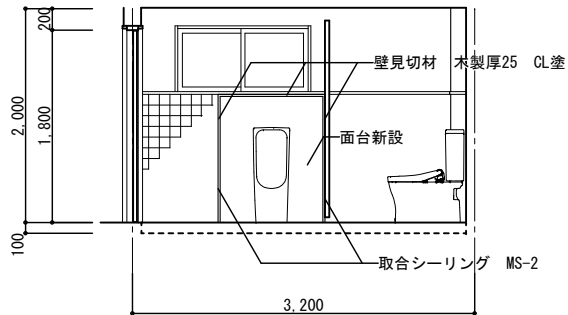
A詳細図 (枠) S:1/20



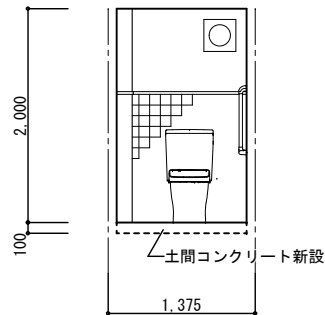
トイレ (改修) イ展開図 S:1/50



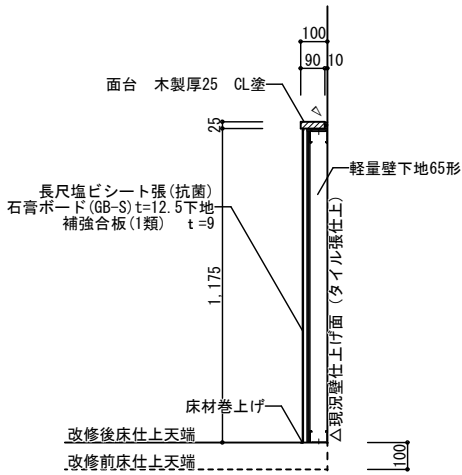
トイレ (改修) ロ展開図 S:1/50



トイレ (改修) ハ展開図 S:1/50



トイレ (改修) ニ展開図 S:1/50

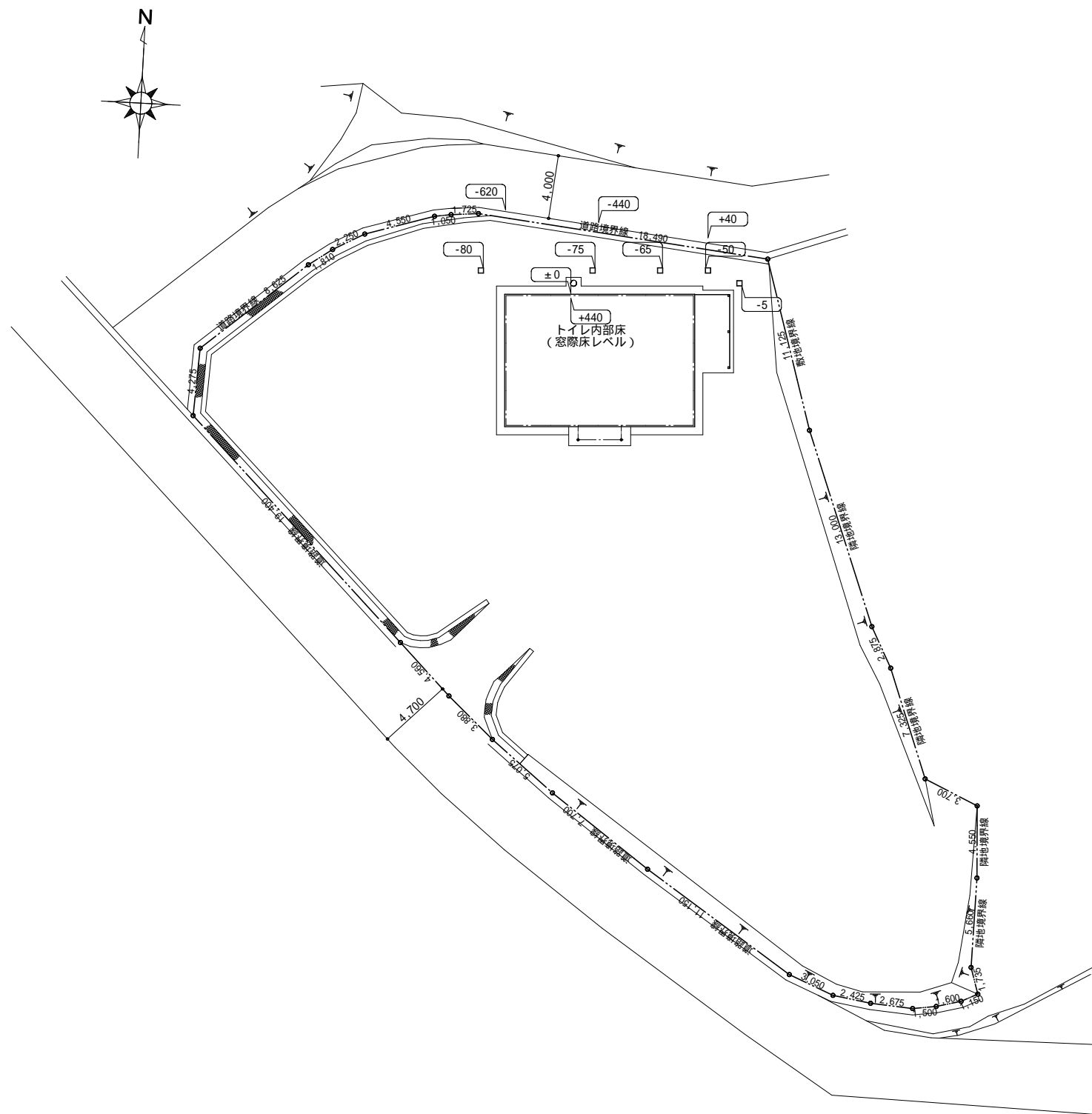


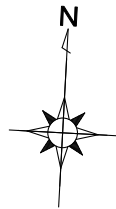
面台詳細図 S:1/20




附近見取図


「志摩市都市計画基本図（白図）」を加工して作成  
A2出力時において、縮尺1/2500



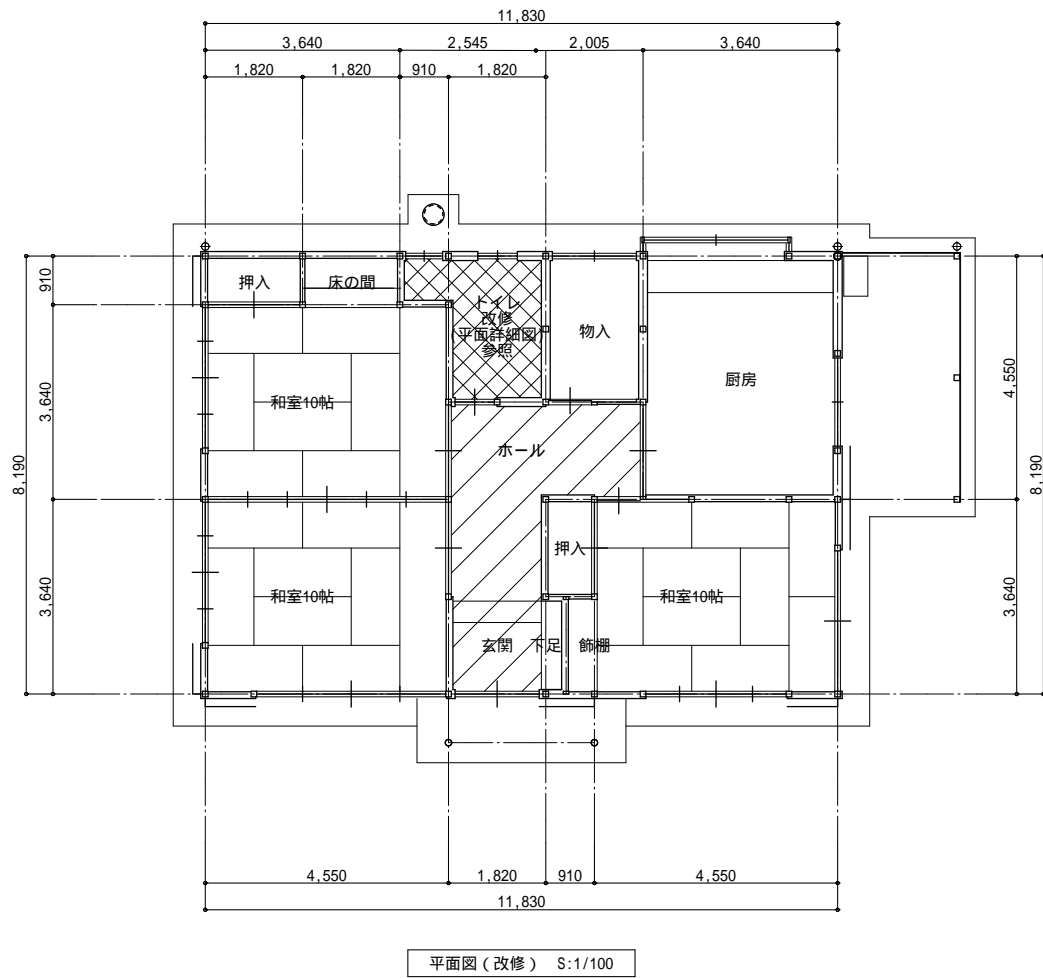
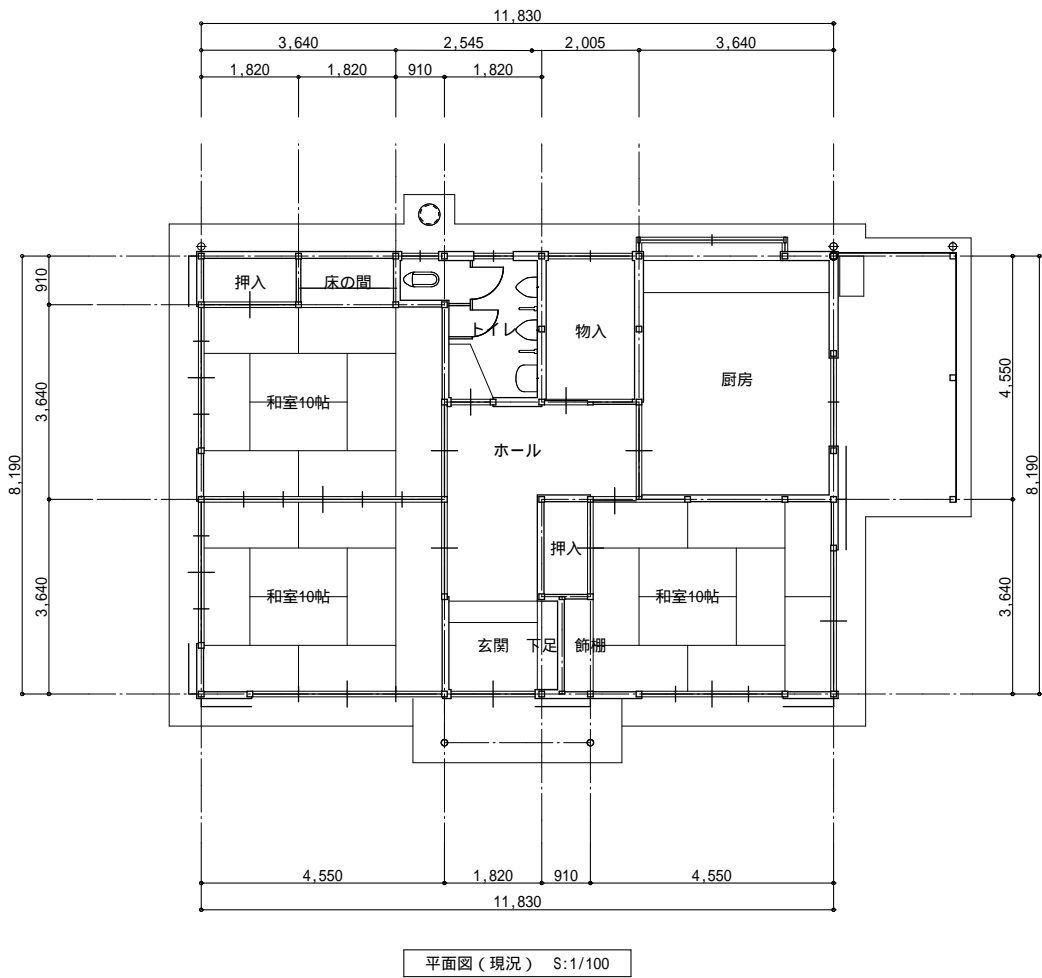




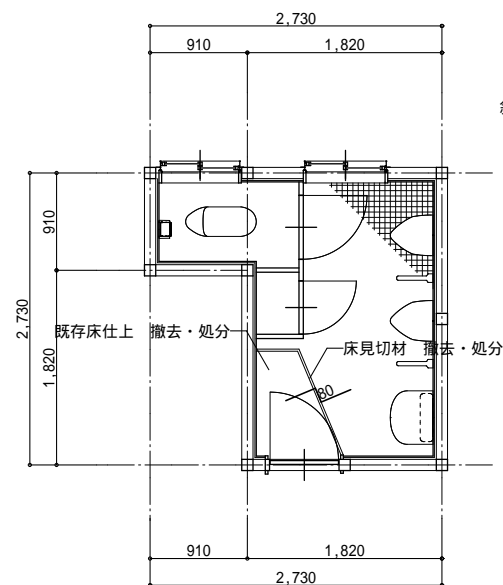
内部改修部分を示す。



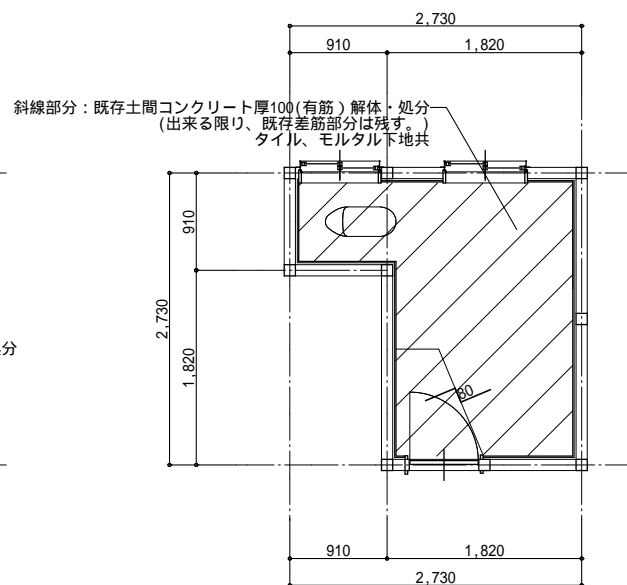
搬入搬出用の床養生を示す。



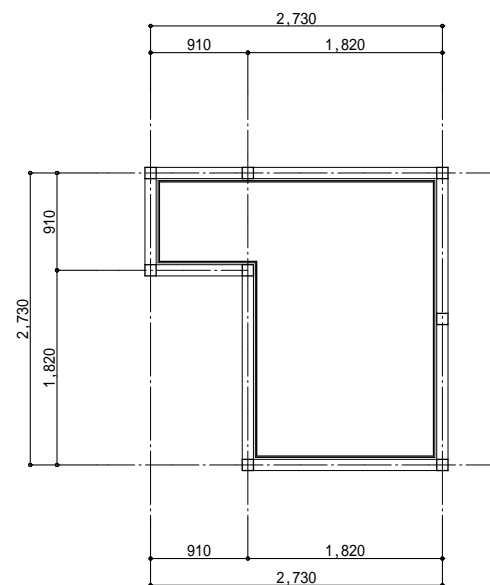
室 名	種 別	床	巾 木	腰 壁	壁	天 井	備 考
トイレ	現 況	磁器質モザイクタイル張 一部 クッションフロア張		半磁器質100角タイル張 ラスシート下地	ダイケンカベサイトF張 厚5	ビニルクロス張 石膏ボード 厚9下地	
	改 修	複層ビニル床シート 厚2.5(抗菌仕様) コンクリート金コテ張物下地		現況まま（器具取り外し跡補修）	現況まま（器具取り外し跡補修）	現況まま（器具取り外し跡補修）	面台、小便器、洋風便器、補助手摺



トイレ（現況）平面詳細図 S:1/50



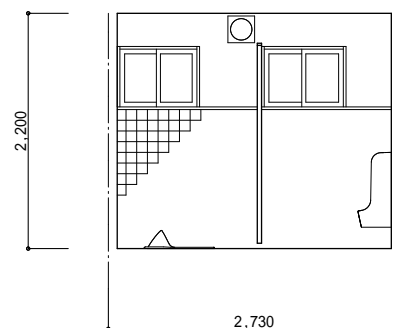
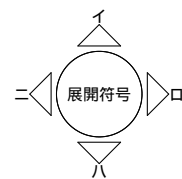
トイレ（現況）土間伏図 S:1/50



トイレ（現況）天井伏図 S:1/50

設備機器等一覧表

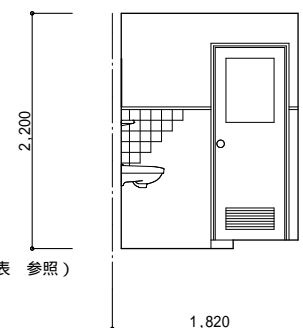
名 称	個数	工事内容			工事種別	
		撤去処分	取外一時保管	現況まま	建築工事	設備工事
和便器	1	○				○
小便器	2	○				○
ペーパーホルダー	1	○				○
補助手摺						
手洗器	1	○				○
鏡	1			○		
化粧棚（陶器）	1			○		
小便器用仕切板	2	○				○
照明器具	2	○				○
換気扇	1			○		
トイレブース	1		○		○	



トイレ（現況）イ展開図 S:1/50

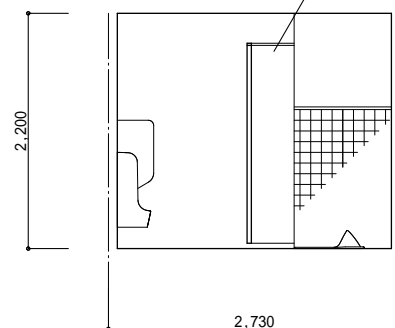


トイレ（現況）口展開図 S:1/50

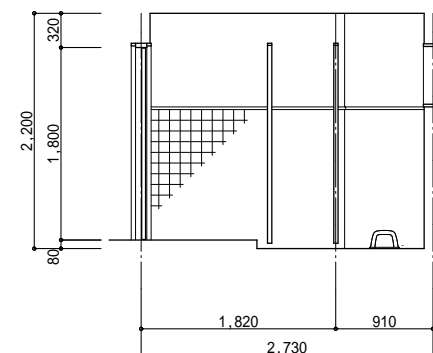


トイレ（現況）ハ展開図 S:1/50

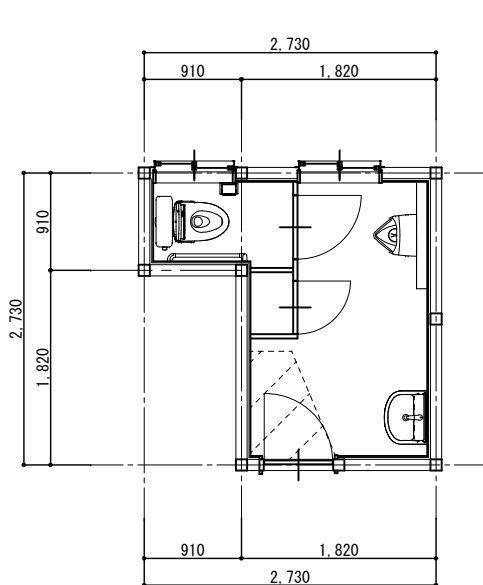
既存トイレブース 取外し（再利用、一時保管）



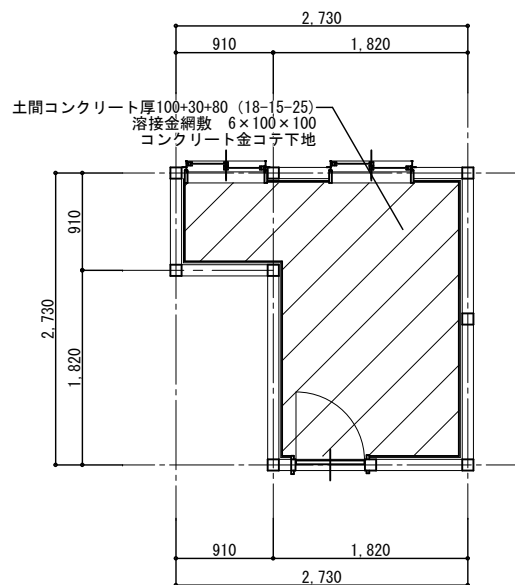
トイレ（現況）二展開図 S:1/50



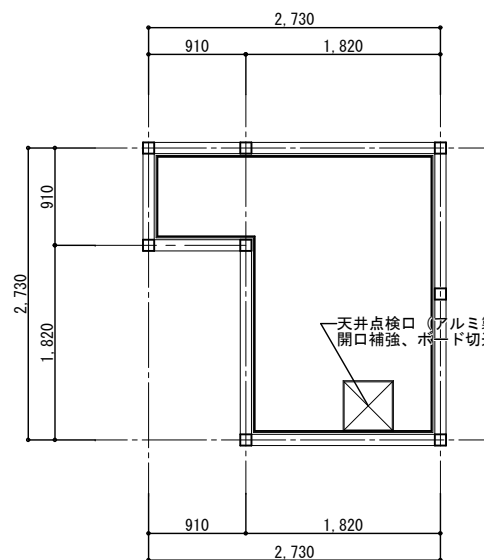
トイレ（現況）二展開図 S:1/50



トイレ（改修） 平面詳細図 S:1/50

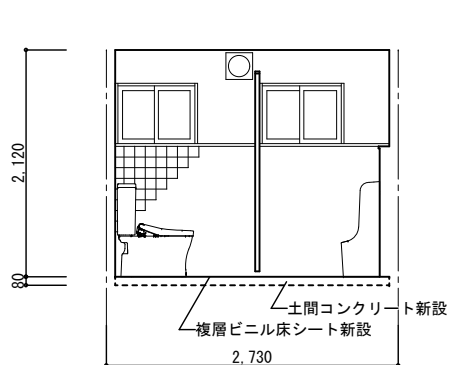
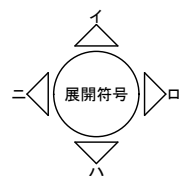


トイレ（改修） 土間伏図 S:1/50

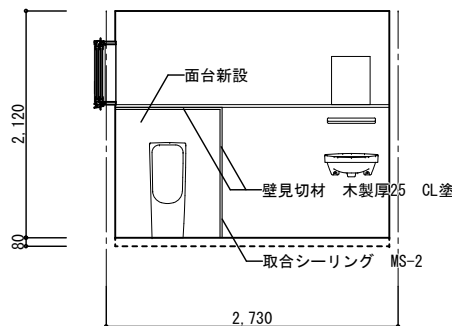


トイレ（改修） 天井伏図 S:1/50

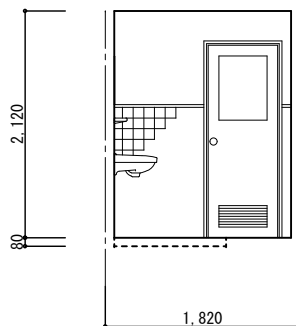
名 称	個数	工事内容			種別	
		新設	再取付	現況まま	建築工事	設備工事
洋便器	1	○				○
小便器	1	○				○
ペーパーホルダー	1	○				○
補助手摺	1	○				○
手洗器	1	○				○
鏡	1			○		
化粧棚（陶器）	1			○		
トイレブース	1		○		○	
小便器用仕切板						
照明器具	2	○				○
換気扇	1			○		



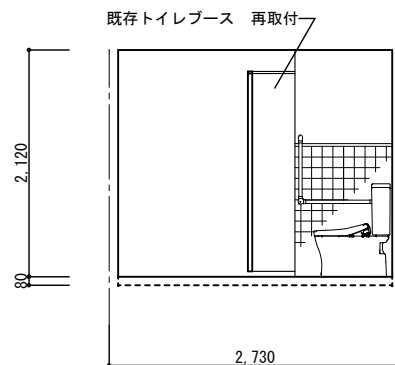
トイレ（改修） イ展開図 S:1/50



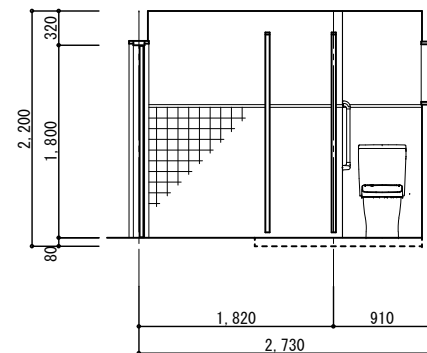
トイレ（改修） ロ展開図 S:1/50



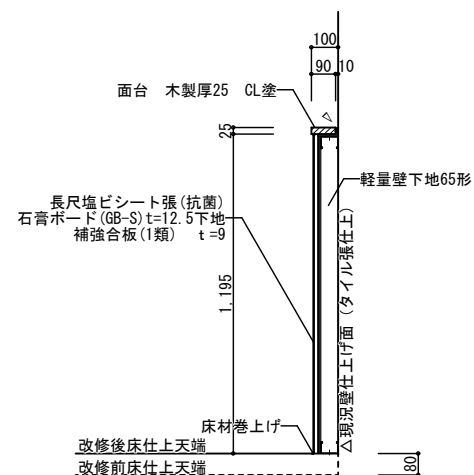
トイレ（改修） ハ展開図 S:1/50



トイレ（改修） ニ展開図 S:1/50

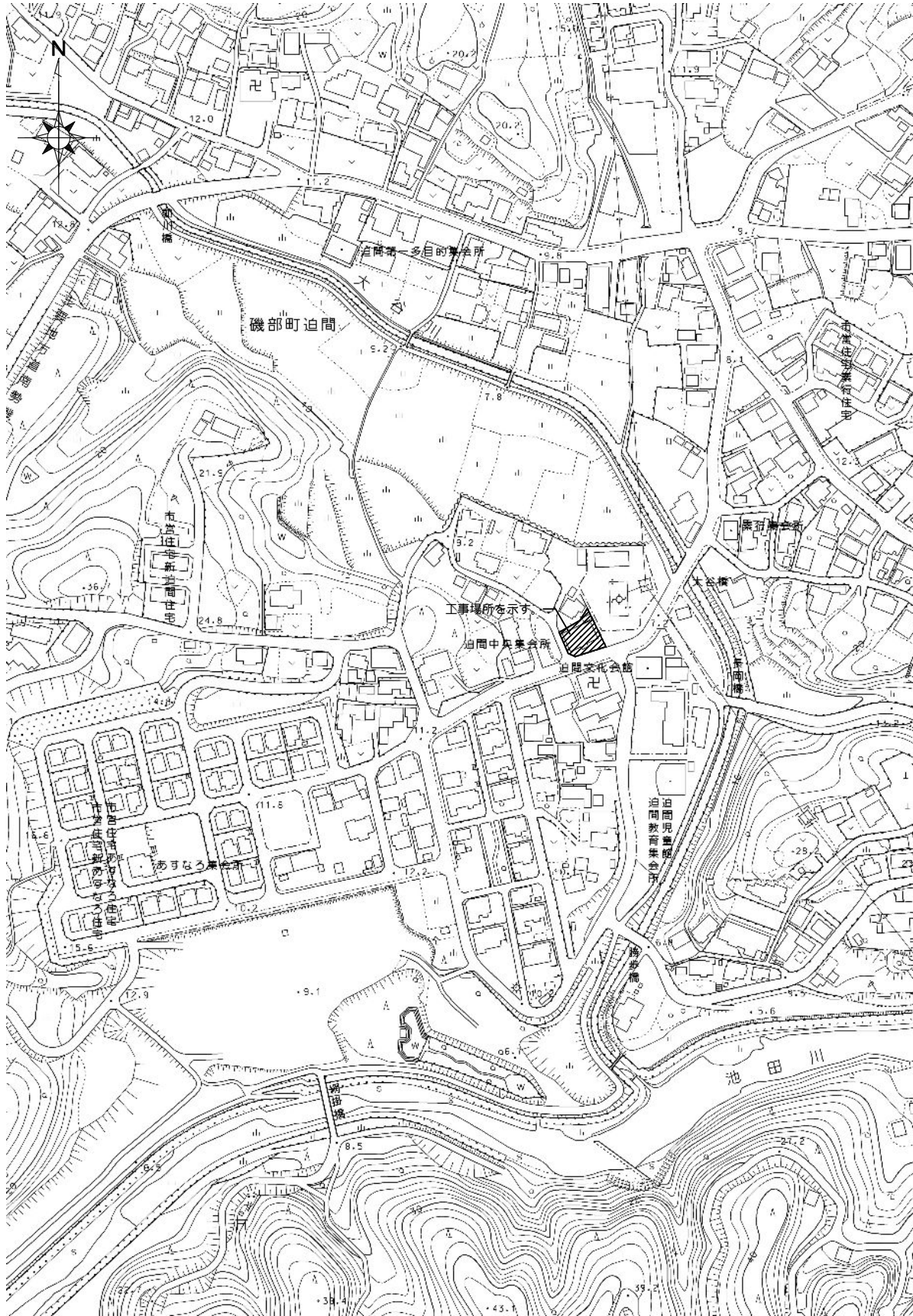


トイレ（改修） ニ展開図 S:1/50

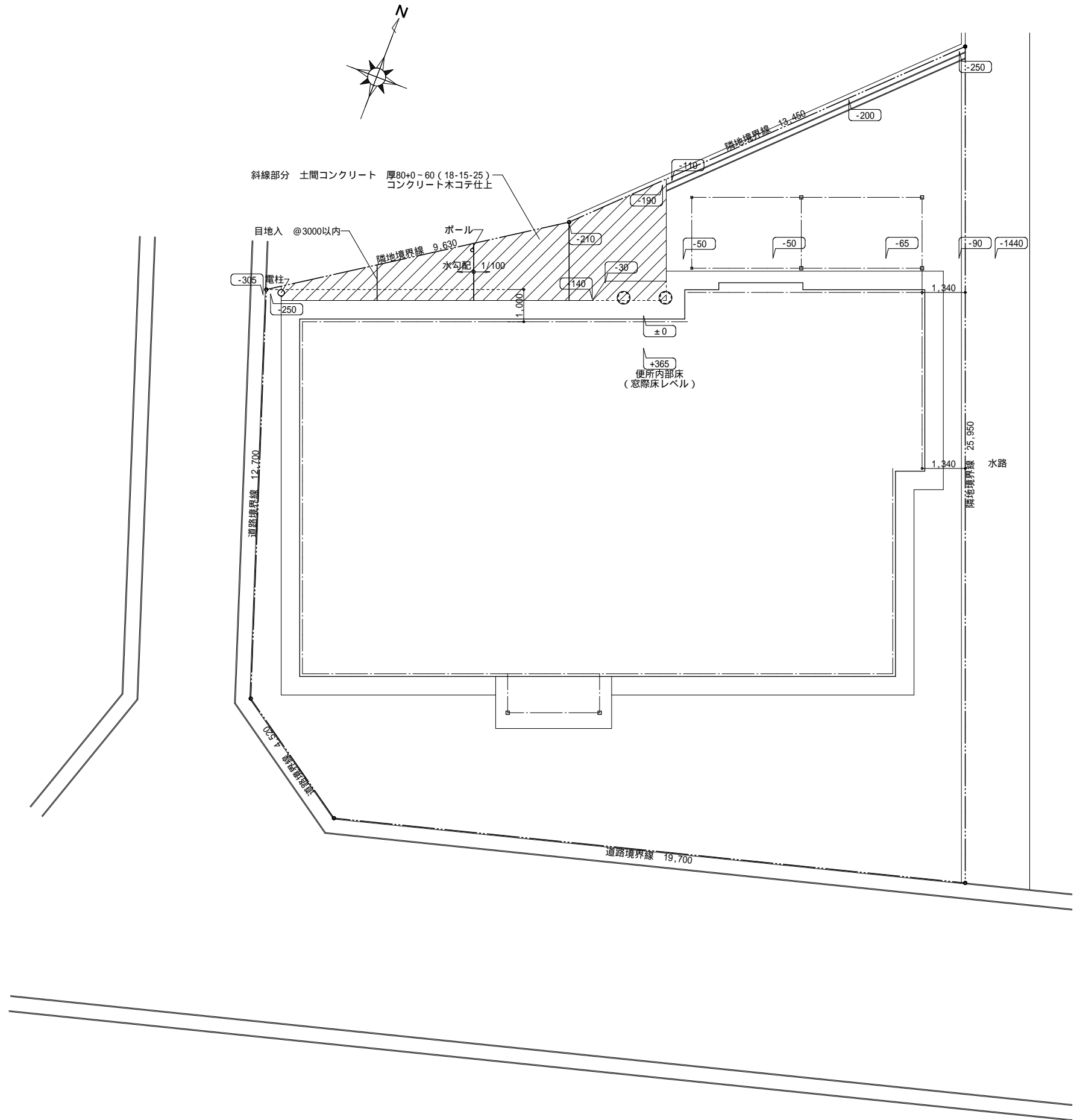


面台詳細図 S:1/20







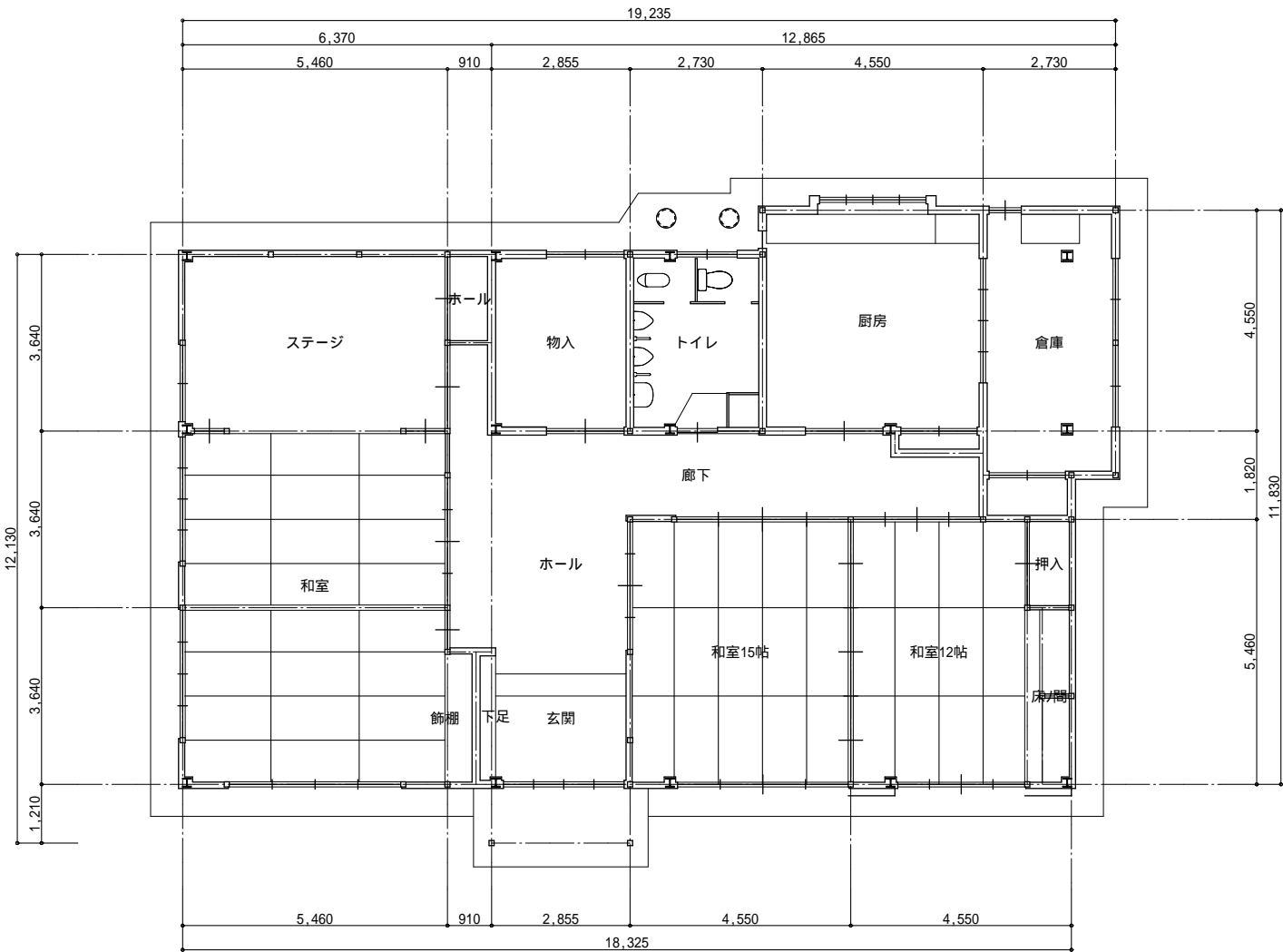
附近見取図 「志摩市都市計画基本図(白図)」を加工して作成  
A2出力時において、縮尺1/2500



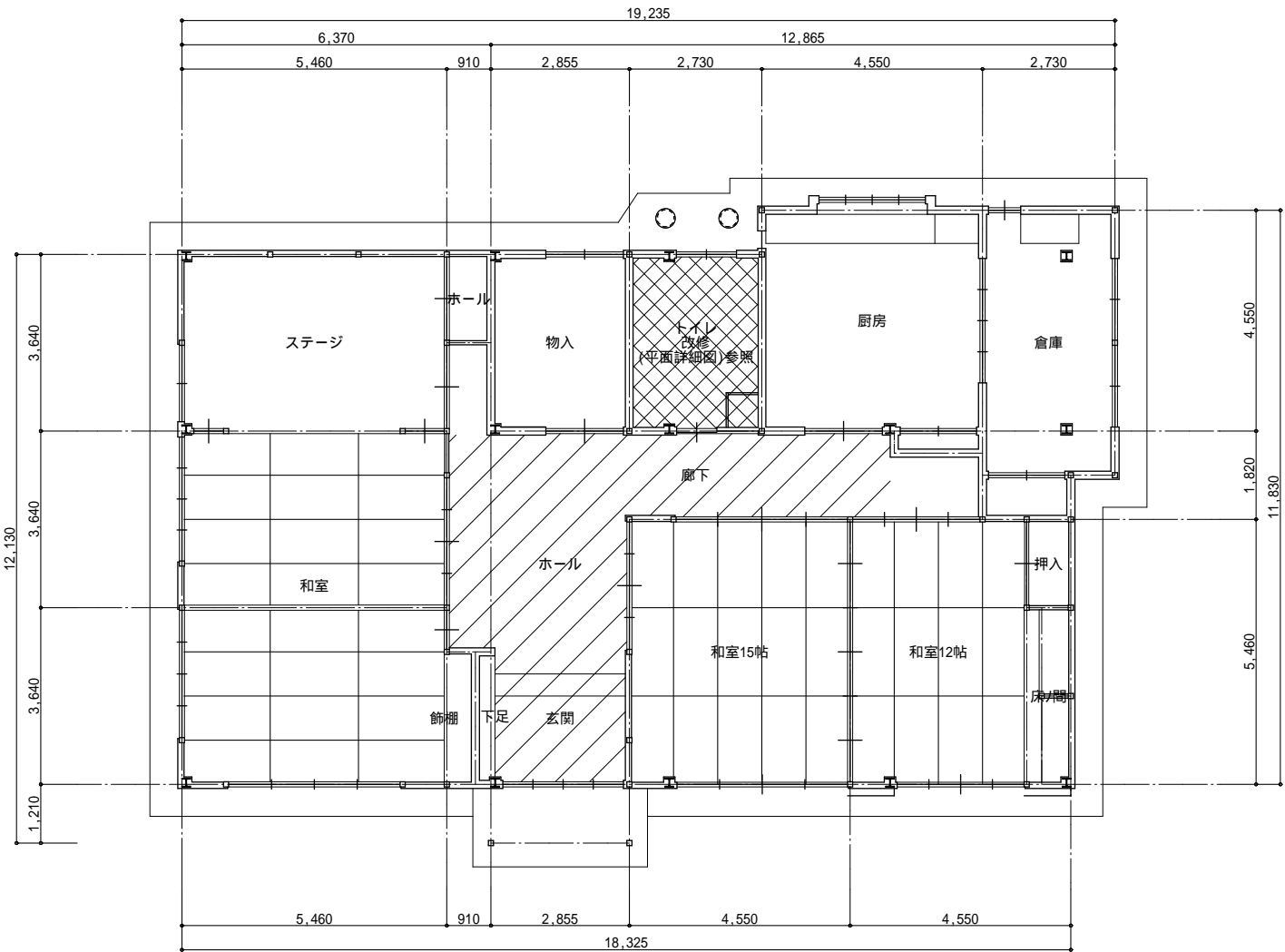


内部改修部分を示す。

搬入搬出用の床養生を示す。

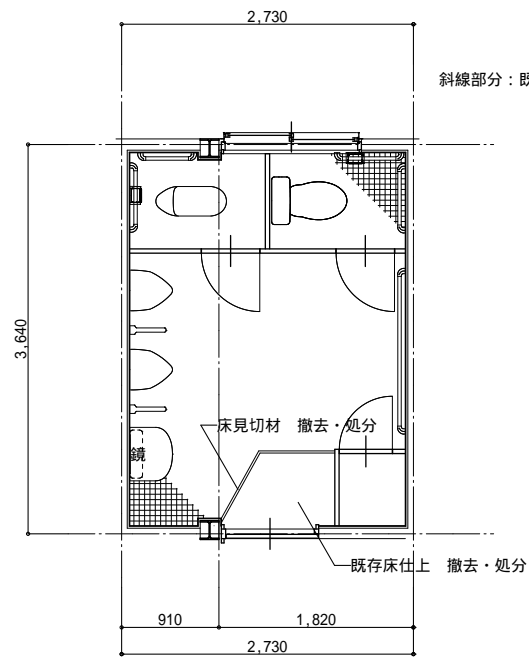


平面図 (現況) S:1/100

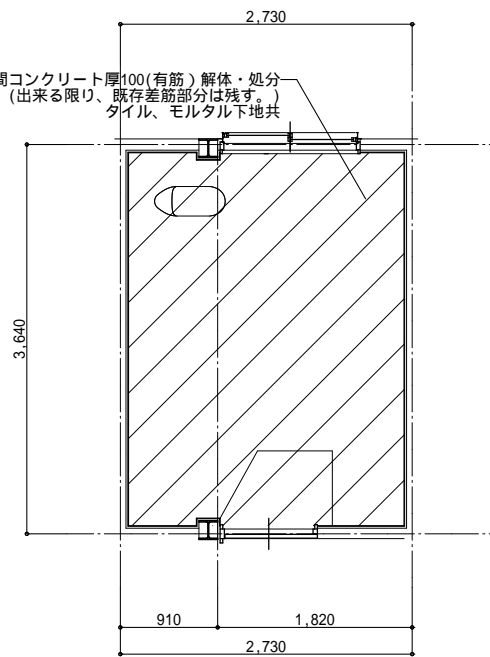


平面図 (改修) S:1/100

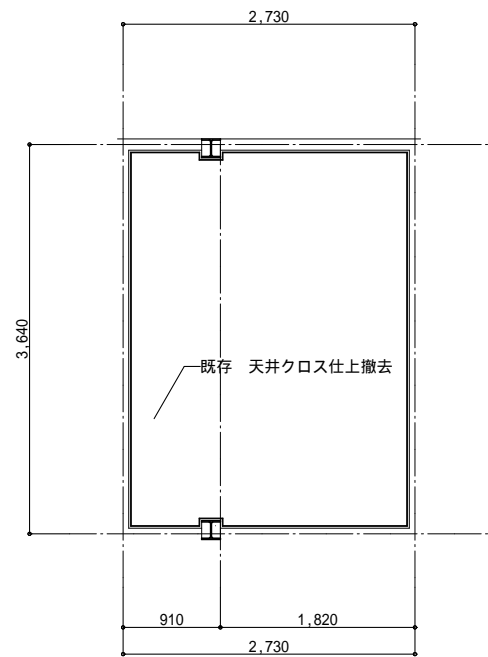
室 名	種 別	床	巾 木	腰 壁	壁	天 井	備 考
トイレ	現 況	磁器質モザイクタイル張 一部 クッションフロア張		半磁器質100角タイル張 ラスシート下地	ビニルクロス張 防火軒天ボード 厚5下地	ビニルクロス張 石膏ボード 厚9下地	
	改 修	複層ビニル床シート 厚2.5(抗菌仕様) コンクリート金コテ張物下地	ソフト巾木 H=60(一部)	現況まま(器具取り外し跡補修)	既存クロス仕上撤去・下地調整共 ビニルクロス仕上 新設	既存クロス仕上撤去・下地調整共 ビニルクロス仕上 新設	面台、小便器、洋風便器、TB



トイレ（現況）平面詳細図 S:1/50

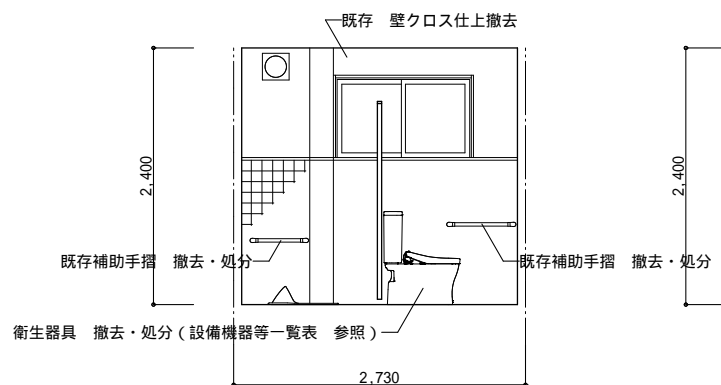
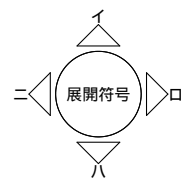


トイレ（現況）土間伏図 S:1/50

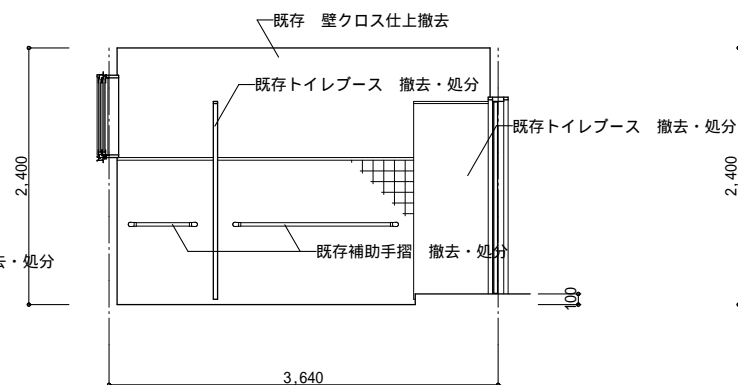


トイレ（現況）天井伏図 S:1/50

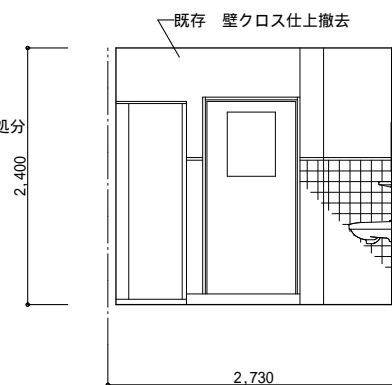
名 称	個数	工事内容			工事種別	
		撤去処分	取外一時保管	現況維持	建築工事	設備工事
洋便器	1	○				○
和便器	1	○				○
小便器	2	○				○
ペーパーホルダー	2	○				○
補助手摺	5	○				○
手洗器	1	○				○
鏡	1	○				○
化粧棚（陶器）	1	○				○
小便器用仕切板	2	○				○
照明器具	1	○				○
換気扇	1			○		
トイレブース	1	○			○	



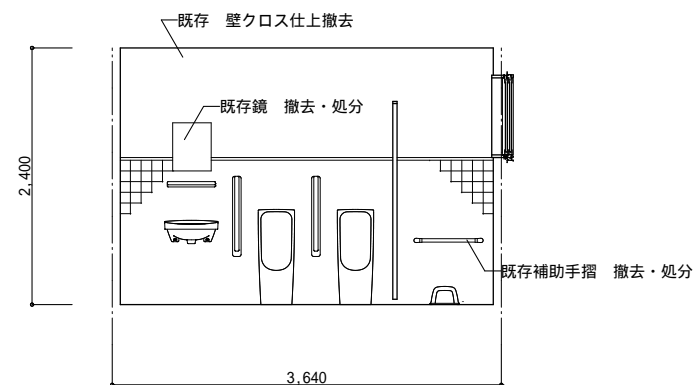
トイレ（現況）イ展開図 S:1/50



トイレ（現況）ロ展開図 S:1/50



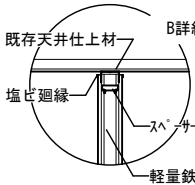
トイレ（現況）ハ展開図 S:1/50



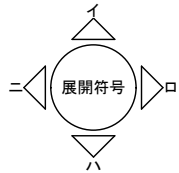
トイレ（現況）ニ展開図 S:1/50

設備機器等一覧表

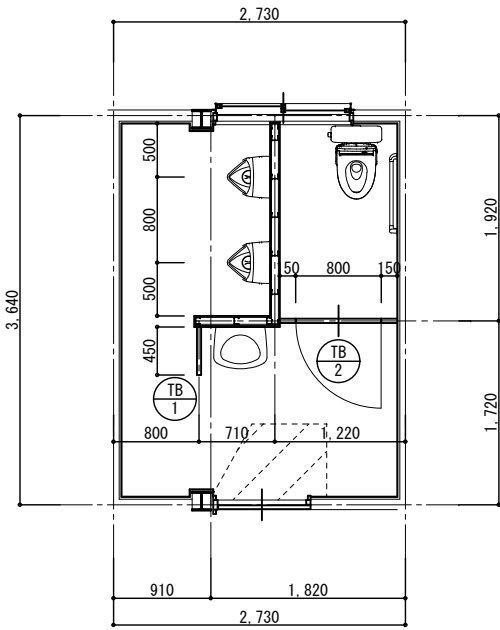
名 称	個数	工事内容			工事種別	
		新設	再取付	現況維持	建築工事	設備工事
洋便器	1	○				○
和便器						
小便器	2	○				○
ペーパーホルダー	1	○				○
補助手摺	1	○				○
手洗器	1	○				○
鏡	1	○				○
化粧棚（陶器）						
小便器用仕切板						
照明器具	2	○				○
換気扇	1			○		
トイレブース	2	○			○	



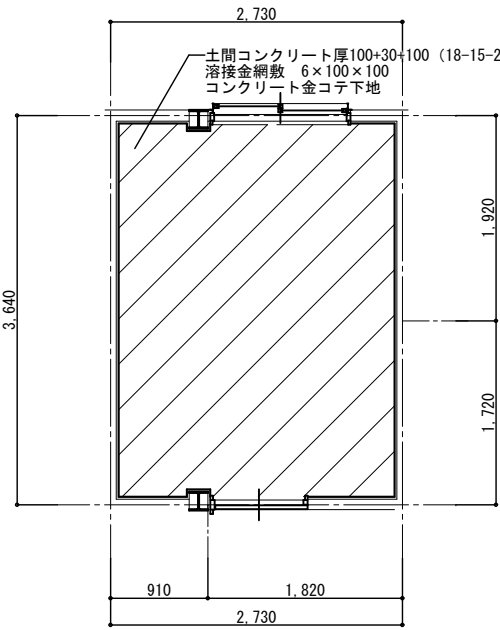
B詳細図（壁・天井） S:1/20



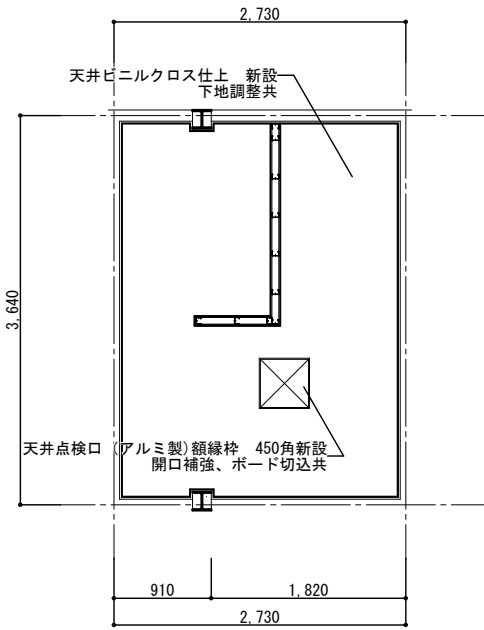
展開符号



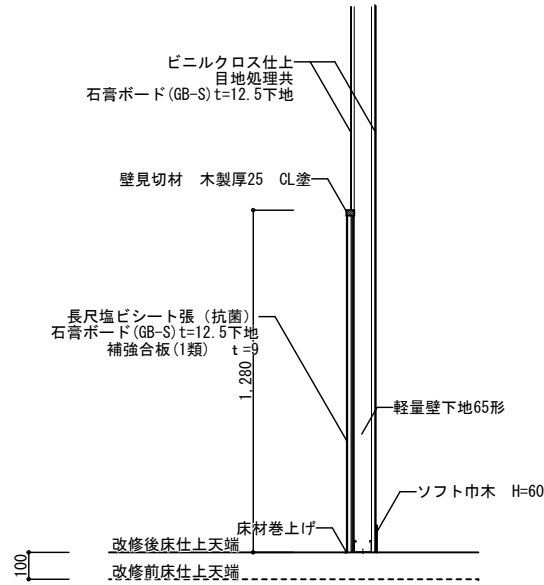
トイレ（改修）平面詳細図 S:1/50



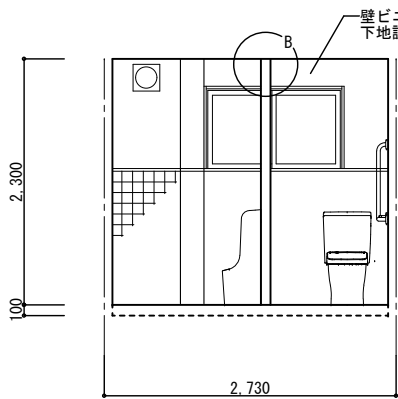
トイレ（改修）土間伏図 S:1/50



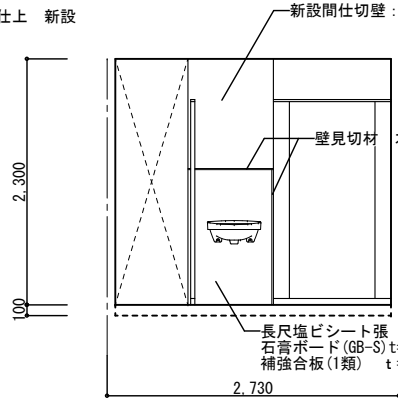
トイレ（改修）天井伏図 S:1/50



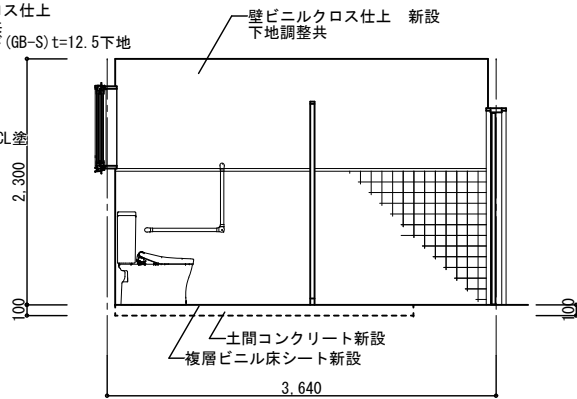
新設間仕切壁詳細図 S:1/20



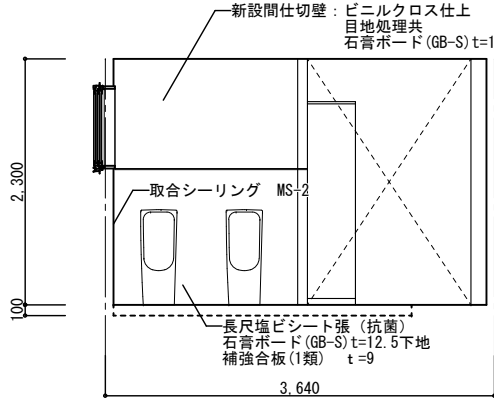
トイレ（改修）イ展開図 S:1/50



トイレ（改修）イ展開図 S:1/50

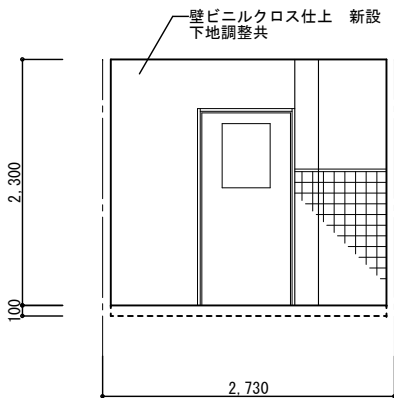


トイレ（改修）ロ展開図 S:1/50

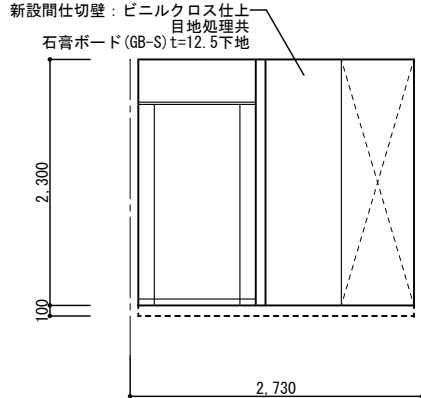


トイレ（改修）ロ展開図 S:1/50

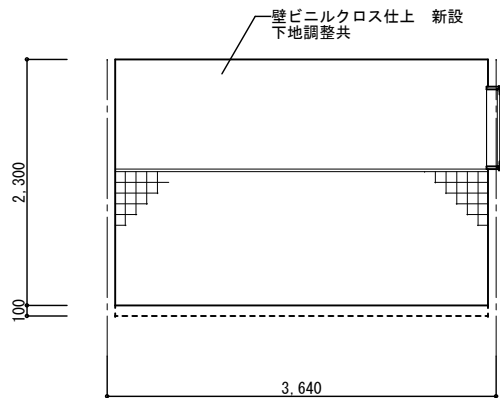
符号	数量	トイレブース	
形状 寸法		450	150 800 150
		▽F.L.	20 1.820 1.900
		TB-1	TB-2
形状		高さ1900 見込40	
仕上・材質		高圧メラミン化粧板	
硝子			
金物		中心軸吊グレビティヒンジ 戸当り帽子掛け SUS巾木	
施錠		表示付スライドラッチ	
備考			



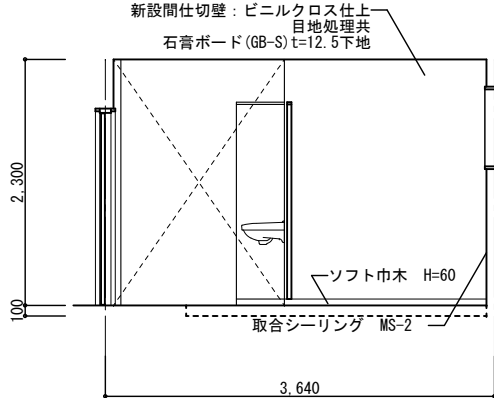
トイレ（改修）ハ展開図 S:1/50



トイレ（改修）ハ展開図 S:1/50



トイレ（改修）ニ展開図 S:1/50







トイレ（改修）ニ展開図 S:1/50

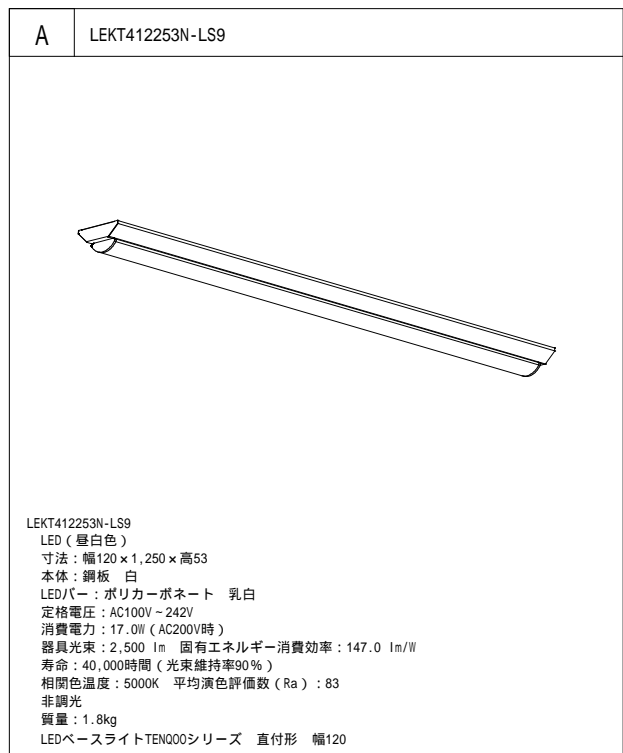
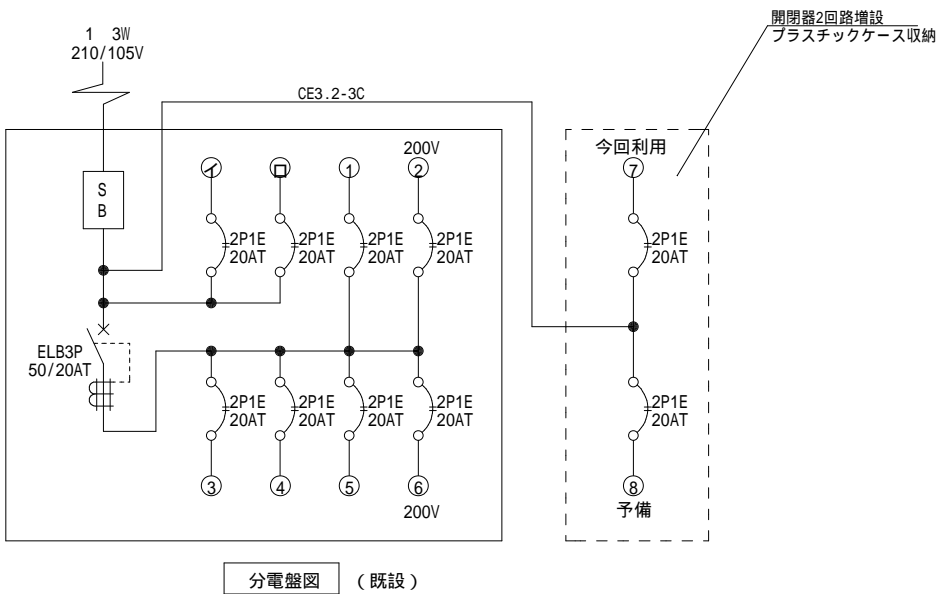
機器標準取付高さ			機器標準取付高さ		
名 称	測 点	取付高さ[m]	名 称	測 点	取付高さ[m]
常時監視装置			消火器		
計算用計器	床～中心	1.800～2.200	表示用換気機	床～中心	天井高×0.9
分電盤	床～中心	1.500	ハット等(一般)	床～中心	2.300
		上端 1.800以下	表示用換気機(一般)	床～中心	1.300
スイッチ	床～中心	1.300	誘導表示用(小)水消火機	標準面による	
スイッチ(多分岐用)	床～中心	1.100	手摺付(100cm以上)	床～中心	1.300
電気スイッチ(自動開)	床～中心	1.800	呼出(4H呼出)	床～中心	900
コ(一般)	床～中心	300	呼出(4H呼出)	床～中心	300
コ(和室)	床～中心	150	床暖房	床～中心	1.500～1.800
コ(和室・上)	床～中心	150～200	換気用吸音管	床～中心	300
灯(一般)	床～中心	1.500	換気用換気機(一般)	床～中心	300
灯(外壁・屋外)	地～中心	800	換気用換気機(和室)	床～中心	150
ゴ(一般)	床～中心	2.100～2.200			
ゴ(換上)	床～中心	2.000～2.200			
ゴ(上端)	上端～中心	150	受信機、副受信機	床～中心	800～1.500
		上端 1.500以下	無線受信機、受信機	床～中心	800～1.500
動機・制御用脚置	床～中心	1.500	表示機	床～中心	2.100
		上端 1.800以下	表示機(100cm以上の場合及び上記取付高さについて標準面に支障が生じる場合は、監督官署に協議する)	床～中心	300
床元用脚置機	床～中心	1.300			
制御用スイッチ	床～中心	1.500			
室内用スイッチ	床～下端	300			
集合用スイッチ	天井～上端	200			
表示用換気機	床～中心	1.300			
時計	床～中心	天井高×0.9以下			
干渉計	床～中心	天井高×0.9			
画像表示スピーカ	床～中心	天井高×0.9			
表示用アタッチメント	床～中心	1.300			

注) 1. 天井高 100cm 以上の場合及び上記取付高さについて標準面に支障が生じる場合は、監督官署に協議する。

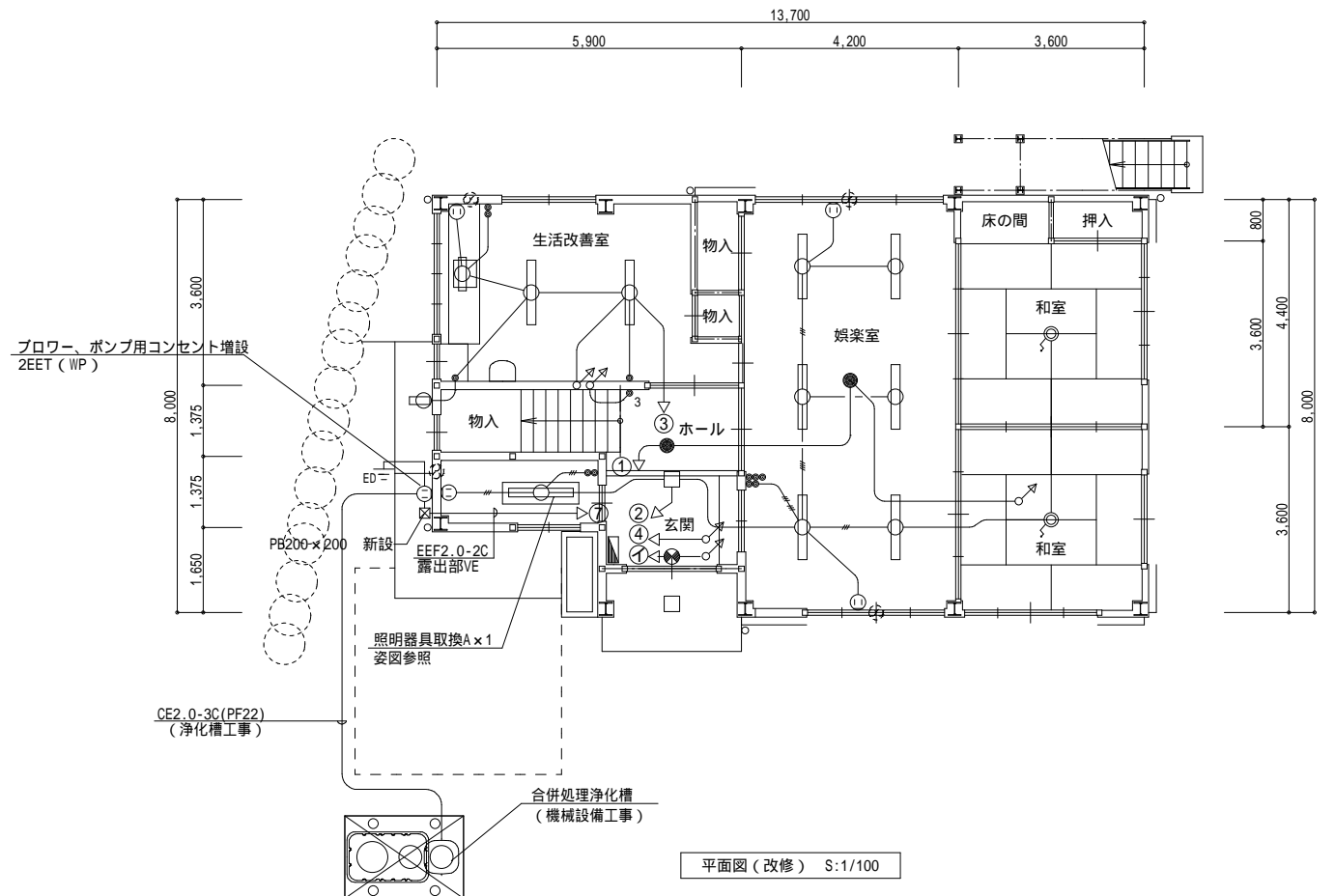
2. 表2に「消火器」の設置位置は、表2付7に「上壁面」の欄の取付位置とする。

3. 表2に「監視機」、表2に「監視機」の設置位置とする。

凡例		
記 号	名 称	備 考
	電灯盤	
	配管・配線 立上り、立下り	
	接地工事	
	照明器具	LED直管型（直付）






照明器具姿図 (参考)

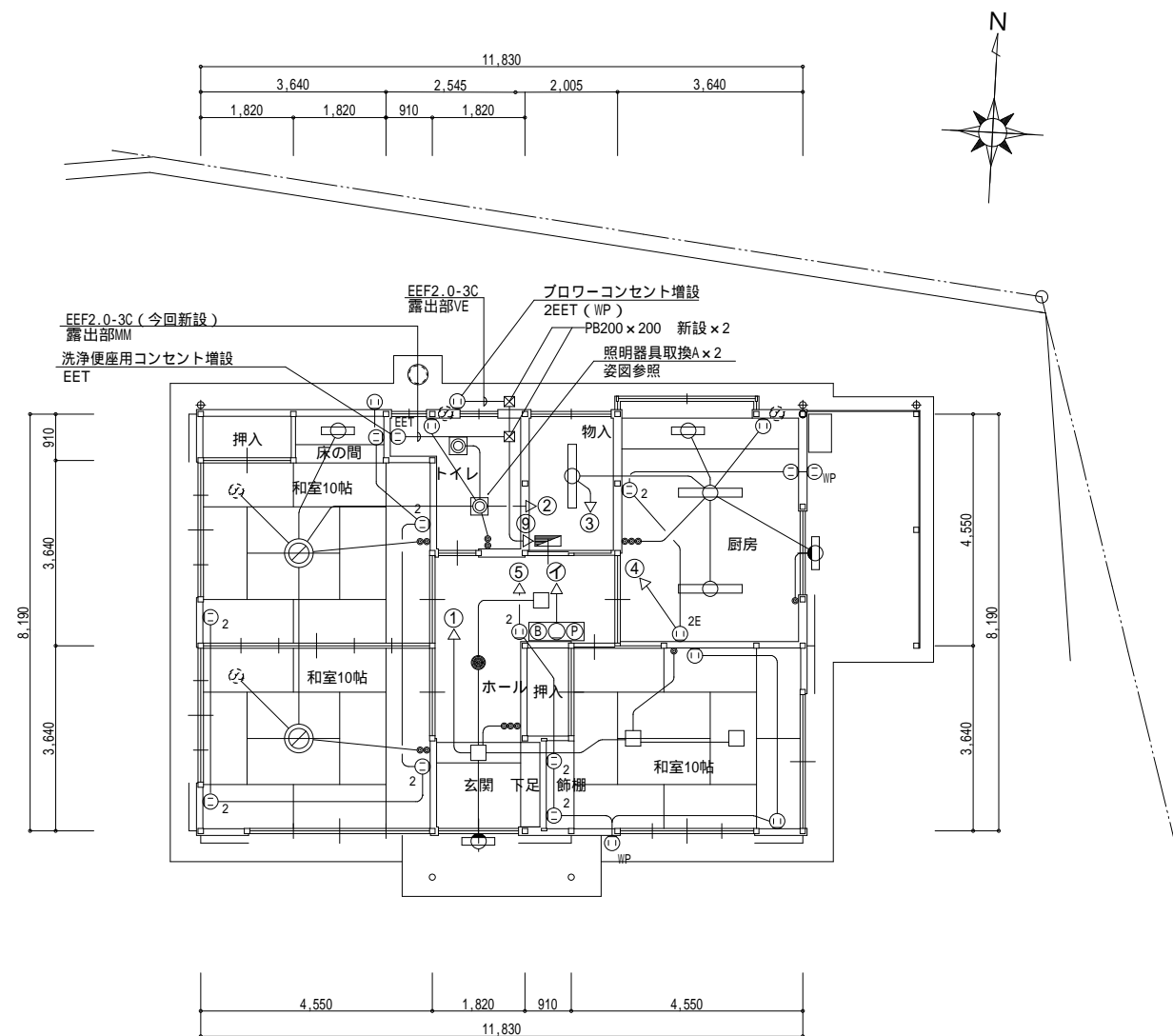
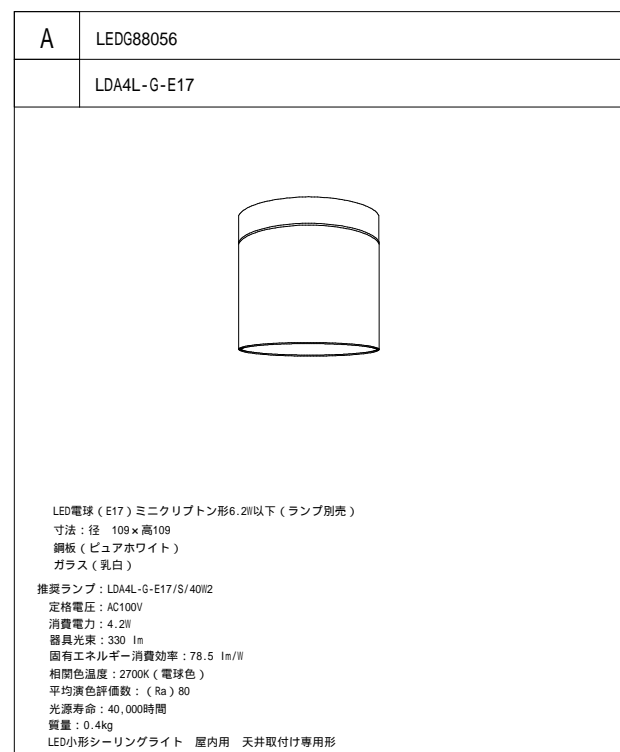
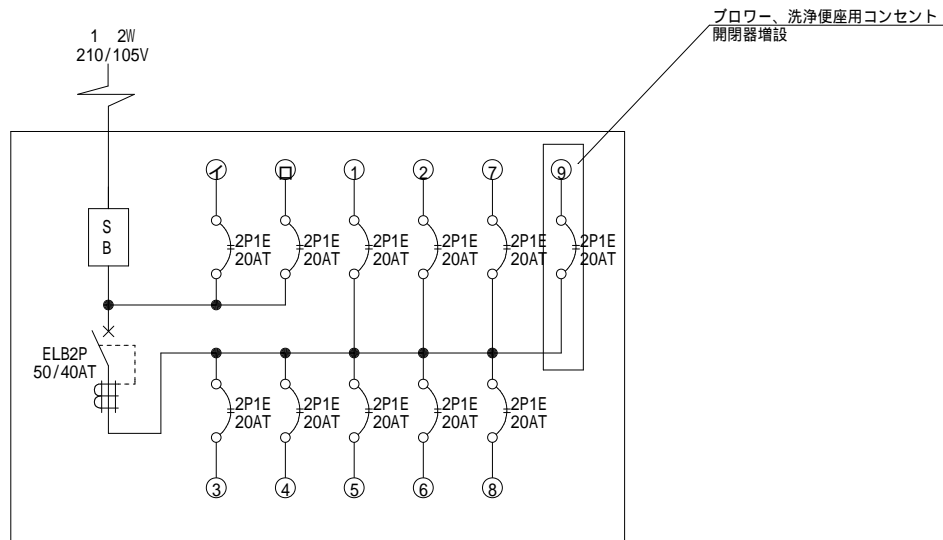


注記

- \* 図中は既設を示す。
- \* 照明器具の取換えについては器具のみとスイッチその他は既設利用とする。
- \* ブロー、ポンプ用電源については既設分電盤より直接取出し配管配線は新設とする。
- \* ブロー、ポンプ用電源の配線について、天井内は隠蔽配線とし外部露出部は塩化ビニル管とする。
- \* 洗浄便座用電源については既設を利用する。



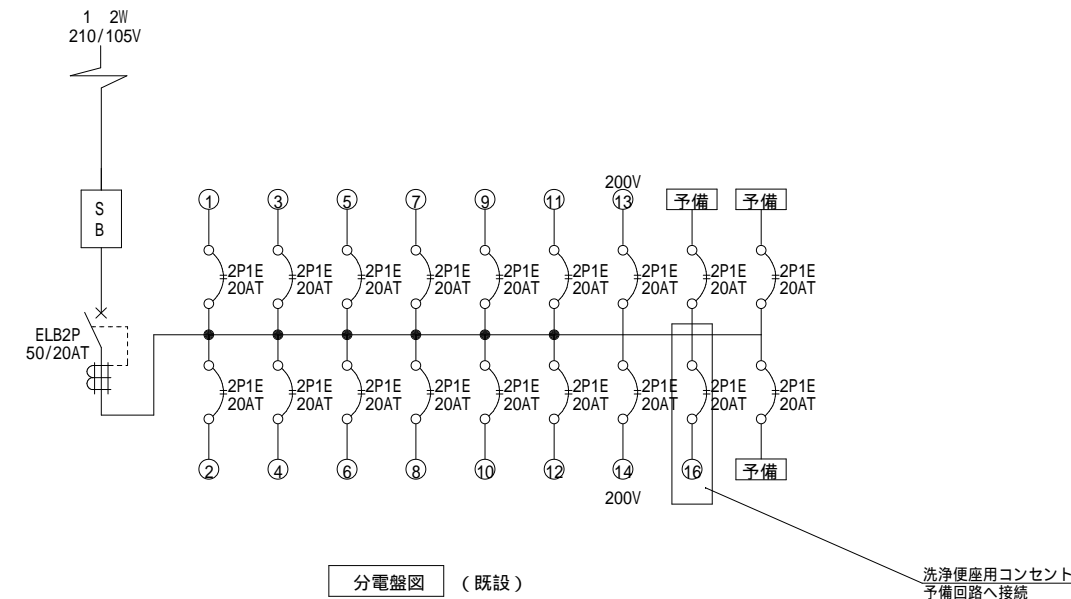
凡例		
記 号	名 称	備 考
	分電盤	
 EET	コンセント	1口接地極付き
	照明器具	LED丸型（直付）



- 注記

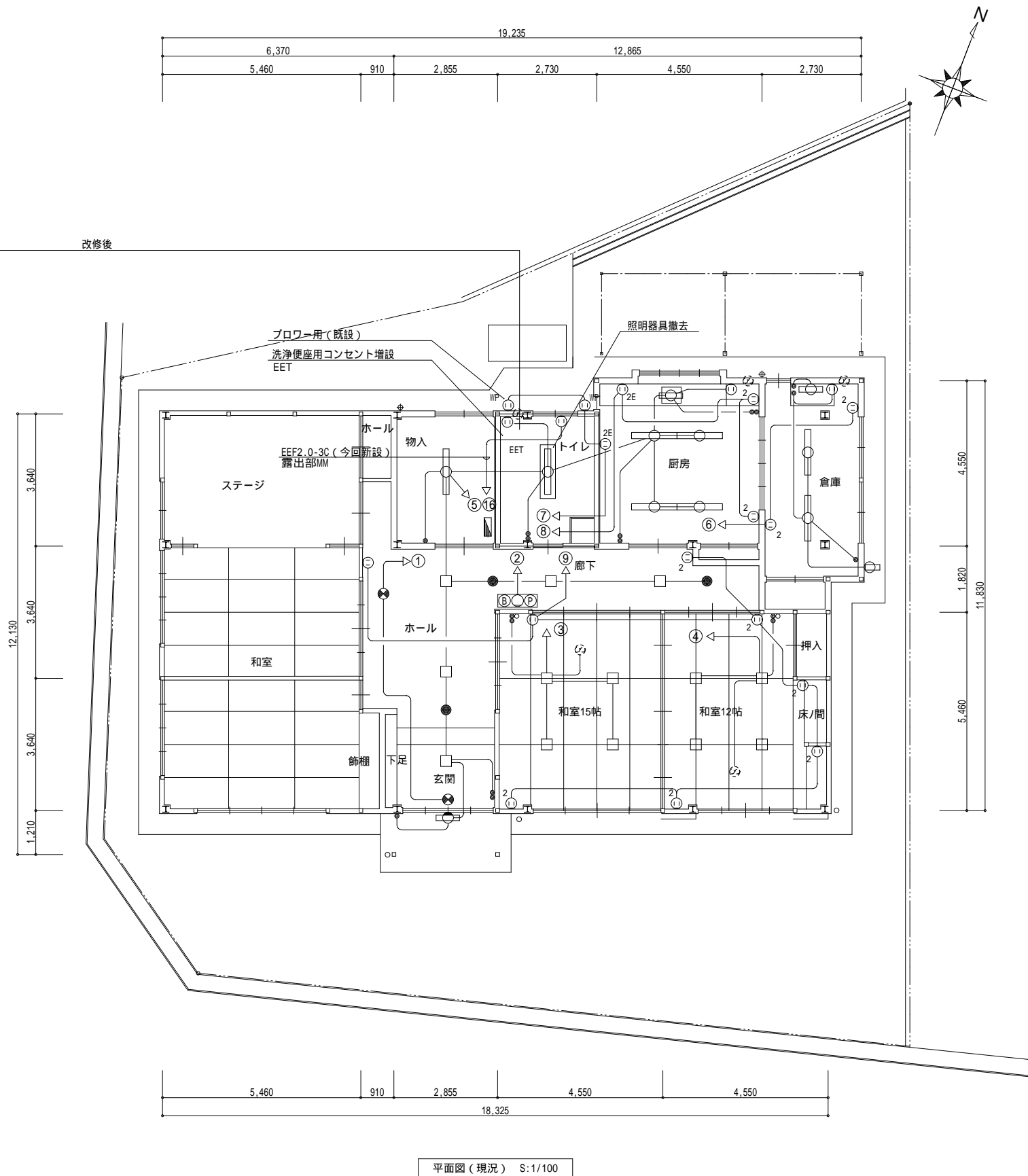
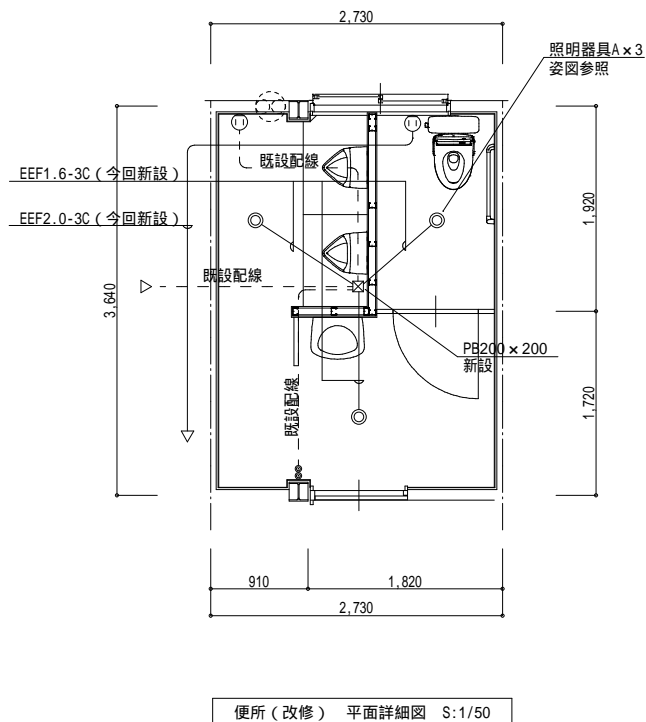
- \* 図中は既設を示す。
- \* 照明器具の取換えについては器具のみとしスイッチその他は既設利用とする。
- \* ブローワ、洗浄便座用電源については既設分電盤より取り出す。
- \* 洗浄便座用コンセントの配管配線については天井内はケーブル配線（露出）とし屋外露出部は硬質塩ビ管、屋内立下げ部についてはメタルモールとする。

凡例		
記 号	名 称	備 考
	分電盤	L-1
	コンセント	1口接地極付き
	照明器具	LED直管型（直付）



A	LEDG88056
	LDA4L-G-E17
LED電球（E17）ミニクリプトン形6.2W以下（ランプ別売） 寸法：径 109×高109 鋼板（ビュアホワイト） ガラス（乳白） 推奨ランプ：LDA4L-G-E17/S/40W2 定格電圧：AC100V 消費電力：4.2W 器具光束：330 lm 固有エネルギー消費効率：78.5 lm/W 相関色温度：2700K（電球色） 平均演色評価数：（Ra）80 光源寿命：40,000時間 質量：0.4kg LED小形シーリングライト 屋内用 天井取付け専用形	

照明器具姿図（参考）


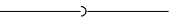

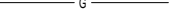



- 注記
- \* 図中は既設を示す。
  - \* 照明器具の取換えについては器具のみとしスイッチその他は既設利用とする。
  - \* ブLOWER用電源については既設ベンチレーター用コンセントを流用する。
  - \* 洗浄便座用コンセントについては専用とし既設分電盤より取り出す。
  - \* 洗浄便座用コンセントの配管配線については天井内はケーブル配線（露出）とし立下げ部についてはメタルモールとする。





章	項目	特 記 事 項	機 材 等 名
衛生器具設備	①小 便 器 ②水 栓 3. 掃 除 流 し 4. 和風便器耐火カバー	洗浄水量は4 L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ㊦ カウンター取付け形 ・ 耐寒水栓（吊コマ） ・ 湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。 排水口は（ ・ 目皿 ・ 鎖付きゴム栓）とする。 和風便器の防火区画貫通処理は標準図による。	衛生器具ユニット マンボ・ルふた・弁樹ふた 水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用）
給水設備	①配管材料 ②引き込み納付金 3. 量 水 器 4. 量水器掛 5. 水 栓 柱 ⑥管の地中埋設深さ 7. 凍結深度	(1)一般配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステンレス鋼管（SUS304）</li> <li>・ 塩ビライニング鋼管（・ VA又はVB ・ ）</li> <li>・ ポリ紛体鋼管（・ PA又はPB ・ ）</li> <li>㊦ 耐摩耗性超硬塩化ビニル管</li> </ul> 上記の選択で、ポリ紛体鋼管又は塩ビライニング鋼管を使用する場合、厨房、浴室等のシンダー内配管はPD又はVDとする。 (2)地中埋設配管 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステンレス鋼管（SUS316）（・ 建物内 ・ 屋外部分）</li> <li>・ 塩ビライニング鋼管（VD）</li> <li>・ ポリ紛体鋼管（PD）</li> <li>㊦ 耐摩耗性超硬塩化ビニル管</li> </ul> (3)水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は、(1)及び(2)による。 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ㊦ 不要 親メーター（ ・ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（ ・ 電文式 ・ バルス式 ） （ ・ 貸与品 ・ ） 親メーター（ ・ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（ ・ 電文式 ・ バルス式 ） （ ・ 貸与品 ・ ） ・ 水道事業者指定品（ ・ 貸与品 ・ 買取り） ・ 標準図MC形 ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製 ・ 埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より( ㊦ 600mm ・ mm)以上 その他の部分では管の上端より( ㊦ 300mm ・ mm)以上 屋外配管の凍結深度は mm	
排水設備	①配管材料 2. 洗面器等の排水管 3. 放流納付金 4. 滴水試験継手	(1)屋内 汚水管 （及び屋外第一棟まで） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・</li> <li>・ コーティング鋼管</li> <li>・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF・VP）</li> <li>㊦ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）</li> <li>・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</li> <li>・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF・VP）</li> <li>㊦ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）</li> <li>・ 配管用炭素鋼鋼管（白）</li> <li>・ コーティング鋼管</li> </ul> 雑排水管・通気管 ポンプアップ排水管 (2)屋外 樹間 <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦ 硬質ポリ塩化ビニル管（ ㊦ VP ・ VU ）</li> <li>・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP・VU）</li> <li>・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS・VU）</li> <li>・ コンクリート管（ ・ 外圧管1種のB形 ・ ）</li> </ul> リサイクルビニル管の適用範囲（RF・VP）：屋内の無圧の排水配管用 （REP・VU）：無圧排水用途の硬質塩化ビニル管 （RS・VU）：埋設部で無圧の一般流体輸送配管用 (1)洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トラップより1サイズアップとする。 (2)給湯室台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管（RF・VP）でもよい。 (3)大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、ビニル管（RF・VP）とする。 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要 図示の位置に取り付ける。	
給湯設備	1. 配管材料 2. 保 温 3. そ の 他	給湯管（膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ 鋼管</li> <li>・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 被覆鋼管</li> <li>・ 保温付き被覆鋼管 ・ 架構ポリエチレン管</li> </ul> 標準仕様書第2編3.1.5によるほか、下記による。 ・ 湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は表2.3.5のh・(イ) の保温を行う。 電気式給湯器等の膨張水排水を設ける。	
消火設備	1. 配管材料 2. 屋内消火栓種別 3. 屋内消火栓開閉弁 4. 地中埋設配管の接合 5. 保 温	(1)屋内消火栓 一般 ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中 ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ (2)連結送水管 一般 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（Sch40） 地中 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG-370VS） (3)連結散水管 ・ ・ 易操作性1号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 1号消火栓 ・ 2号消火栓 箱内に別途機器（発信機及び電鈴）取付用の板を設ける。 ・ 10K ・ 外面被覆鋼管の呼び径100以下はねじ接合とする。 屋外露出部分 ・ 有（標準仕様書第2編3.1.5の給水管の項による。） ・ 無	
厨房設備	1. 機器の寸法 2. 機器の機能等	概略寸法とする。 図示による。	
ガス設備	1. 配管材料 2. ガス充てん容器 3. ガスメータ 4. ガス漏れ警報器 5. 気密試験	・ 都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。 ・ 液化石油ガス 一般配管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） 地中埋設配管 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ 借用 ・ 本工事 親メーター（ ・ 貸与品 ・ ） 親メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス式） 子メーター（ ・ 買取り ・ ） 子メーターの形式（ ・ 直読 ・ バルス式） ・ 本工事（図示による） 外部出力端子 ・ 有 ・ 無 ・ 別途工事 都市ガス 一般ガス導管事業者の供給規定による。 液化石油ガス 保持時間は、24分以上とし記録計による測定表を提出する。	
槽浄化設備	1. 形 式 2. 測 定 表	㊦ ユニット形 ・ 現場施工形 一定期間経過後、放流水質性能等を記入した測定表を提出する。	

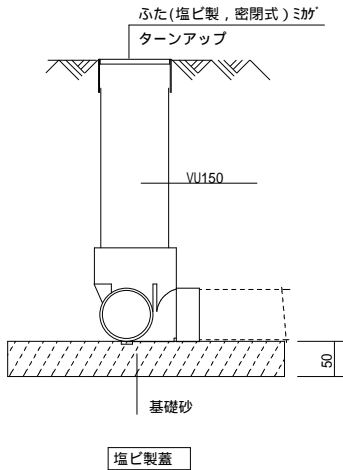
図 示 記 号

記 号	名 称
	給 水 管
	汚 水 管
	排 水 管
	ガ ス 管
	通 気 管

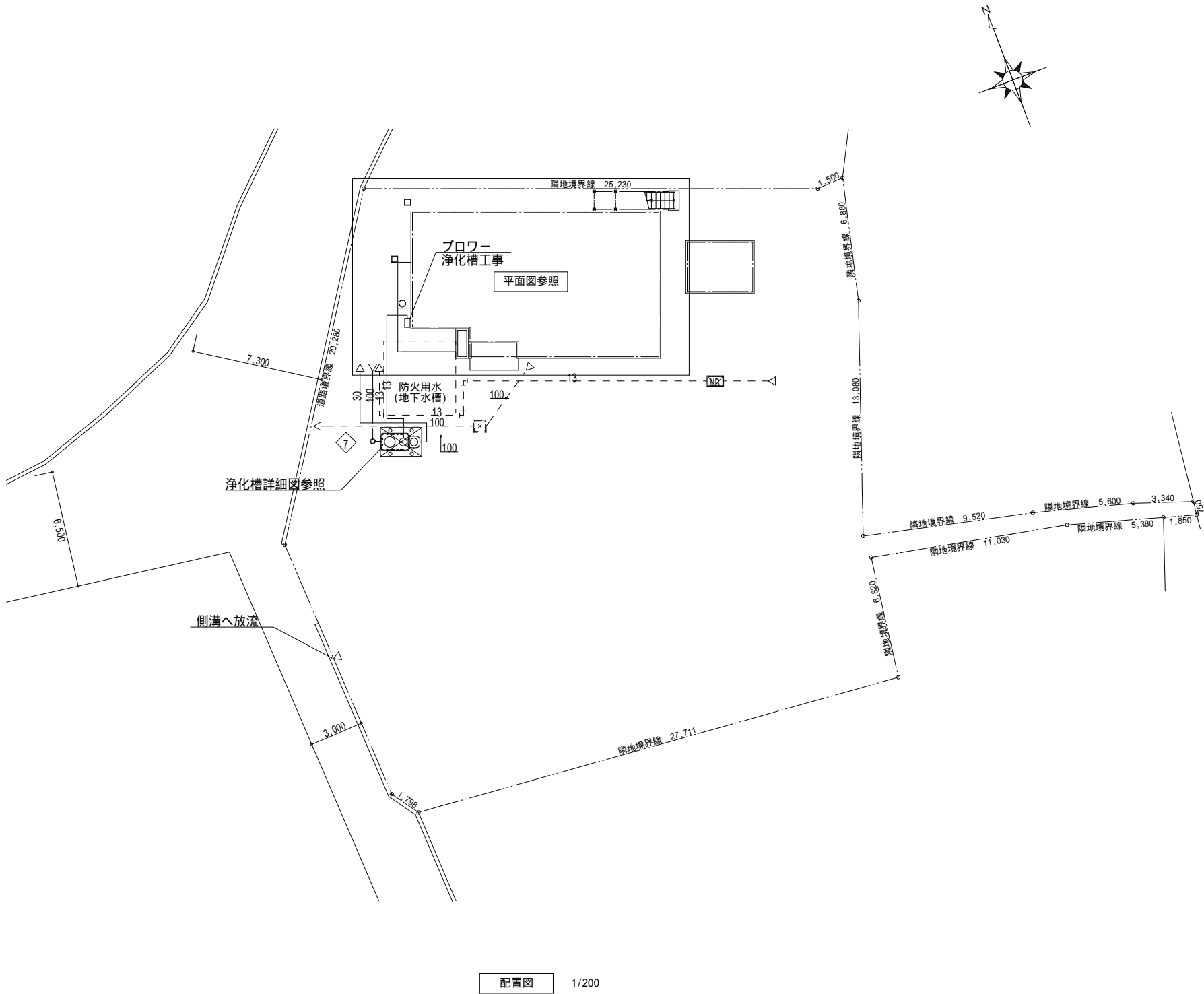
記 号	名 称
	給 水 栓
	フ ラ ッ シ ュ バ ル ブ
	ガ ス コ ッ ク
	弁 類
	床 上 掃 除 口
	排 水 金 物

樹 仕 様

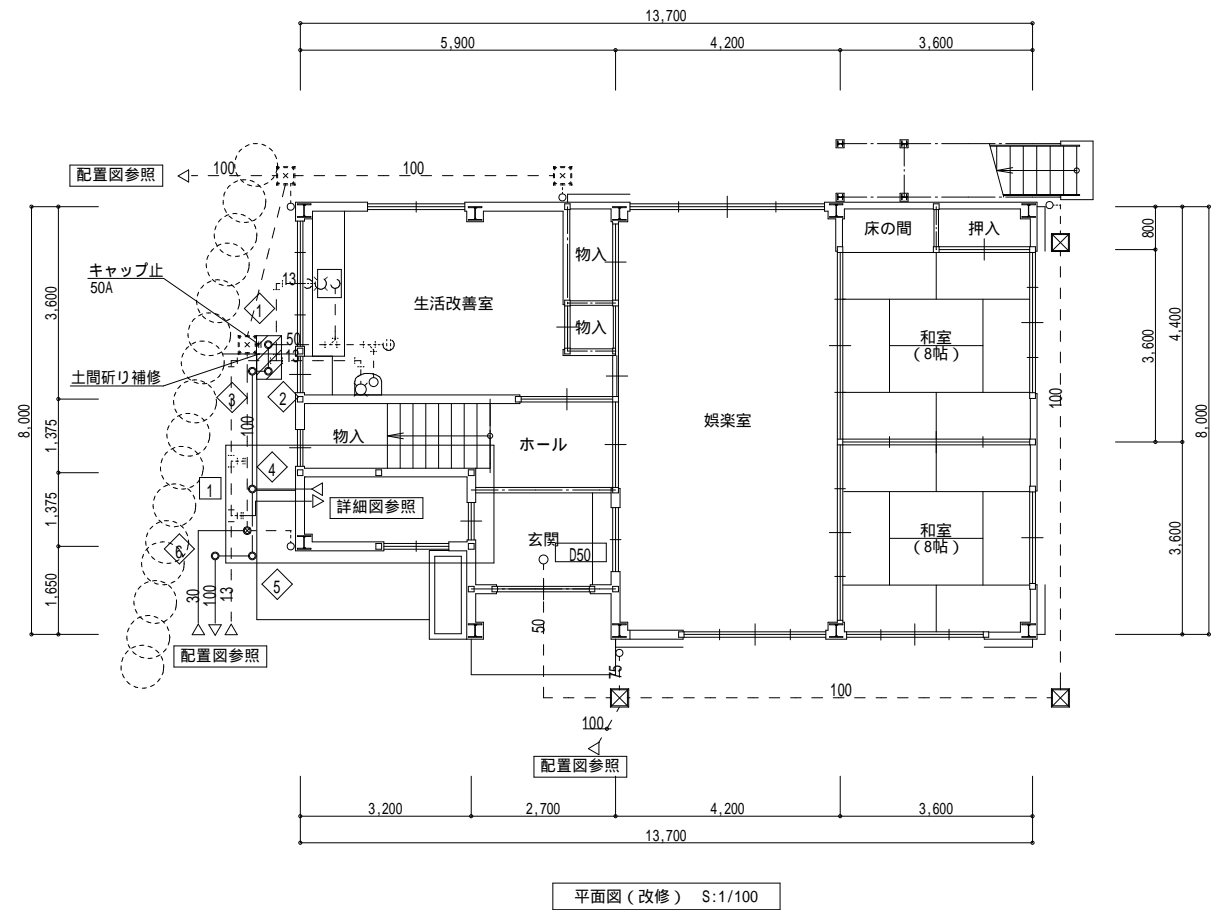
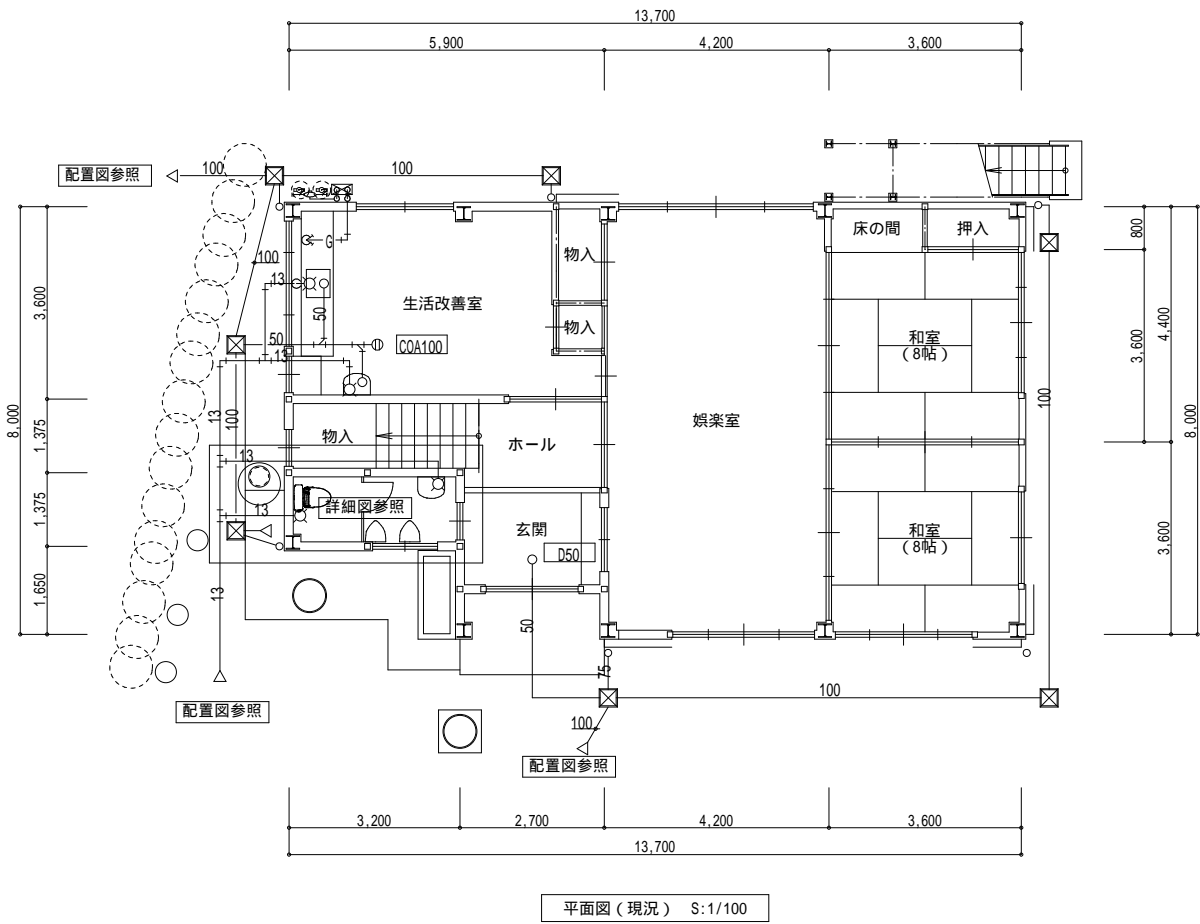
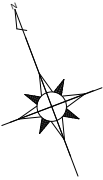
種 別	記 号	樹 寸 法	蓋 寸 法	備 考
小口径インバート樹	S-2	100	密 閉 型 150	記号 
小口径雨水樹	R-2	100	密 閉 型 150	記号 



小口径樹設置要領図



配置図 1/200

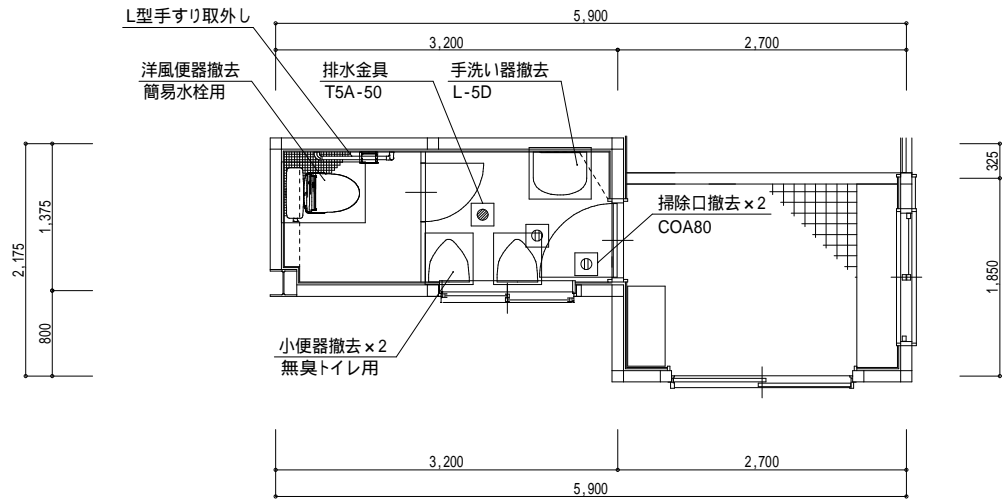


注記  
\* 図中は既設配管を示す。

排水樹リスト

	記号	種類	管底深さ (GL-)	蓋種別	適用
①	S-2	90L	-300	塩ビ蓋	曲り (起点)
②	S-2	90L	-310	塩ビ蓋	
③	S-2	90L	-320	塩ビ蓋	
④	S-2	90Y	-350	塩ビ蓋	合流
⑤	S-2	90L	-370	塩ビ蓋	
⑥	S-3	90L	-380	塩ビ蓋	
⑦	S-3	90L	-450	塩ビ蓋	流入樹 (-570)
①	R-2	90L	-300	塩ビ蓋	曲り (起点)





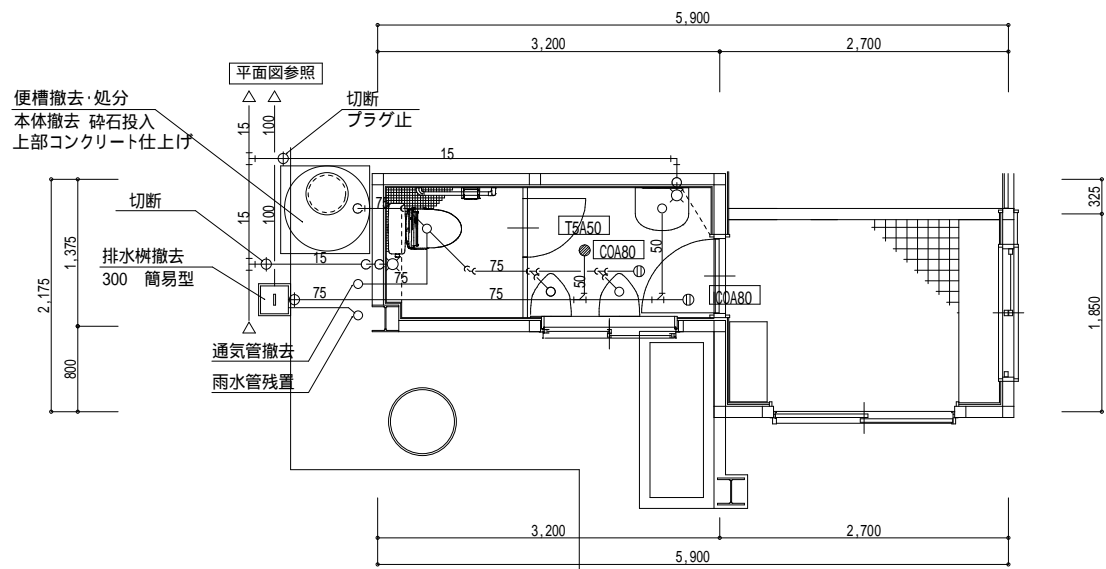
トイレ (現況) 平面詳細図 S:1/50  
(器具撤去)

注記

- \* 撤去機器 (処分) を示す。
- \* 機器撤去については金具等一式とする。
- \* 化粧鏡、化粧棚については残置とする。

撤去器具表

トイレ		数量
洋風大便器	止水栓、洗浄便座	1
L型手すり	取外再取付	1
紙巻器		1
小便器	無臭トイレ用	2
手洗い器	単水栓	1



トイレ (現況) 平面詳細図 S:1/50  
(配管撤去)

注記

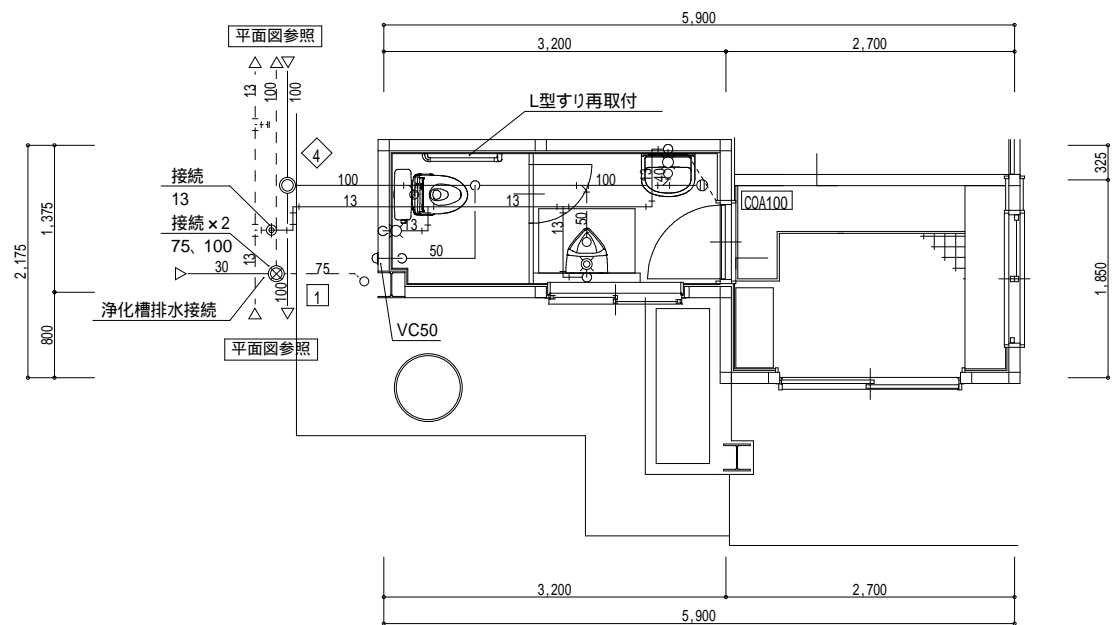
- \* 図中は既設配管を示し、特記無は全撤去とする。
- \* 配管切断を示す。

配管切断リスト

トイレ		数量
給水用銅管	15A	2
雑排水管	75A	1
通気立管	75A	1

衛生機器組合表 (参考)

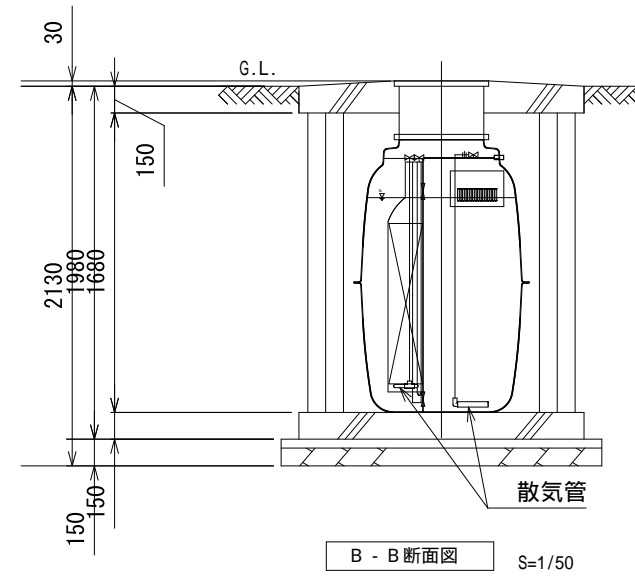
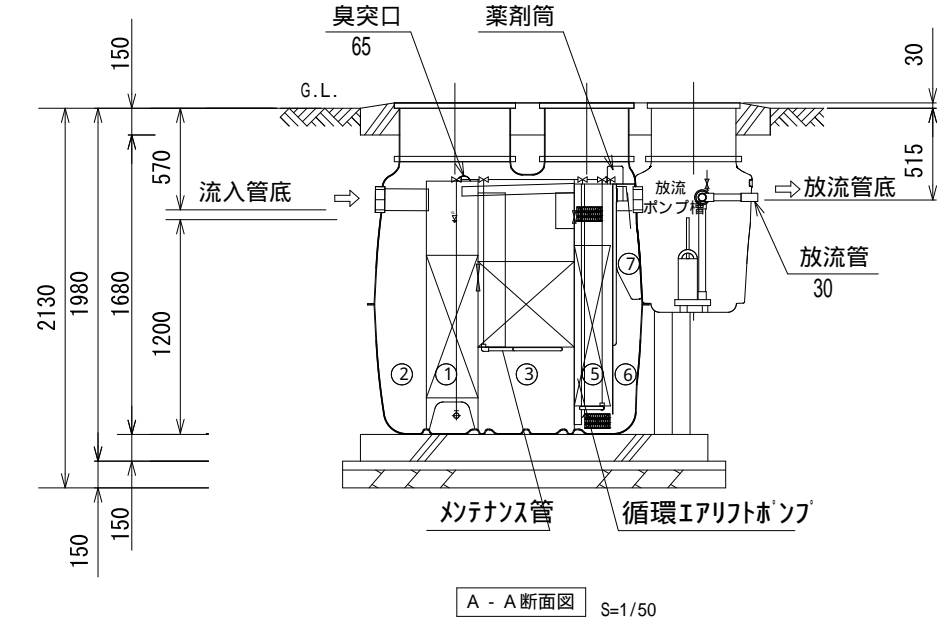
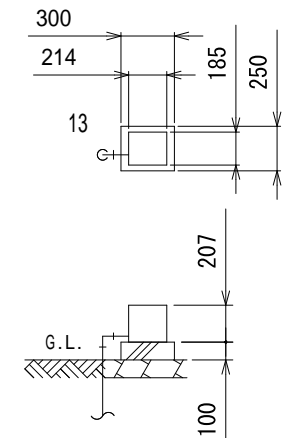
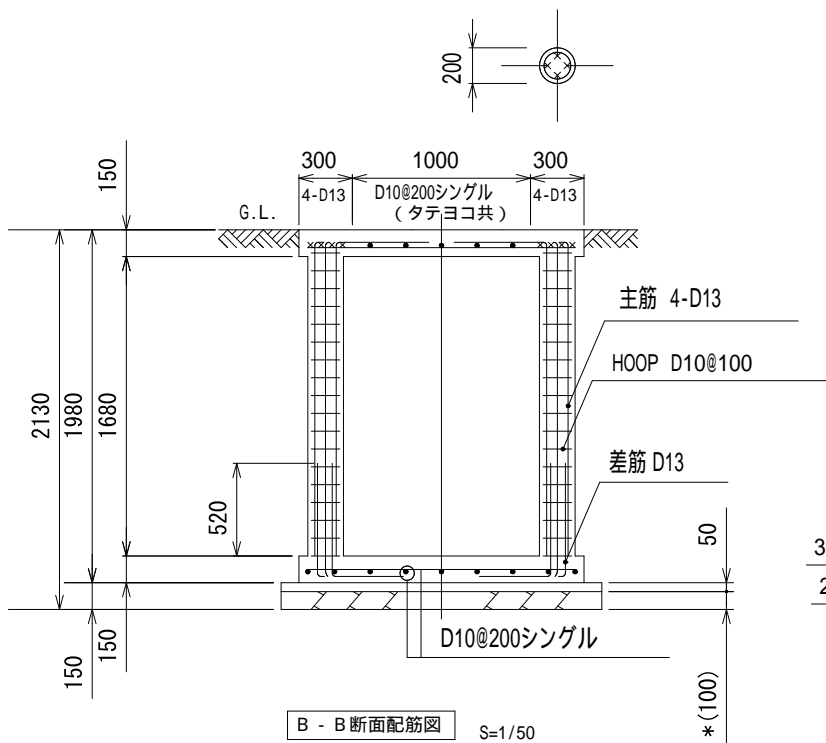
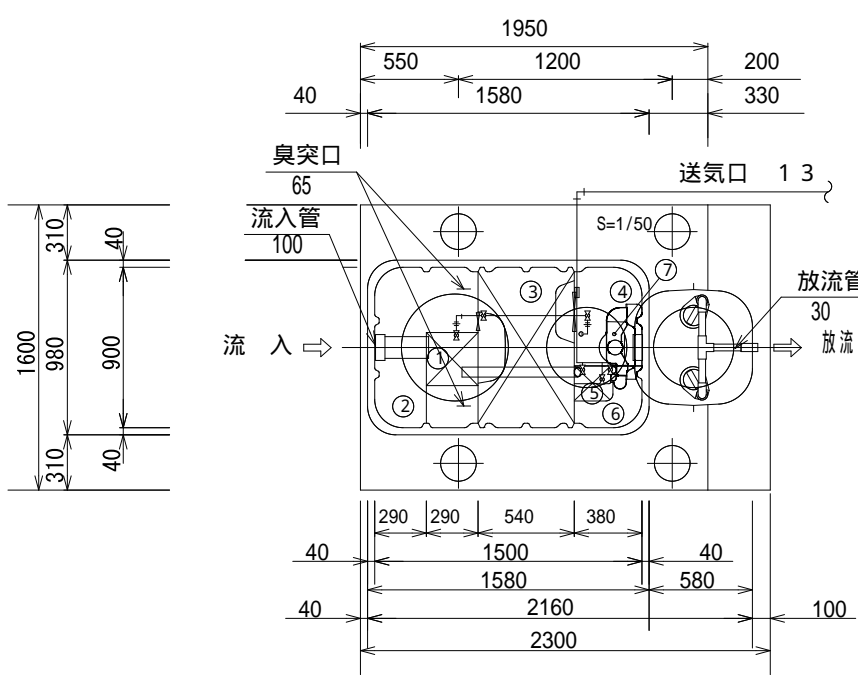
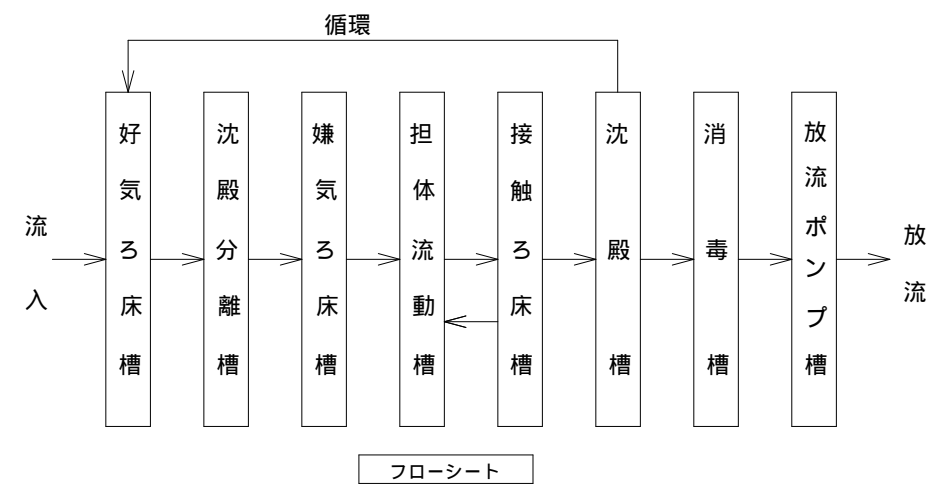
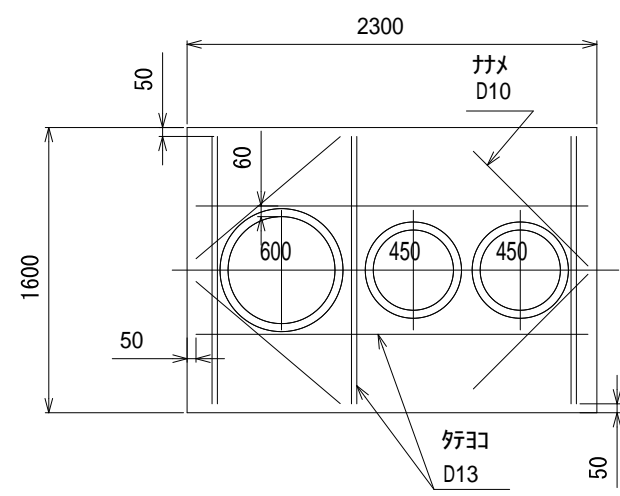
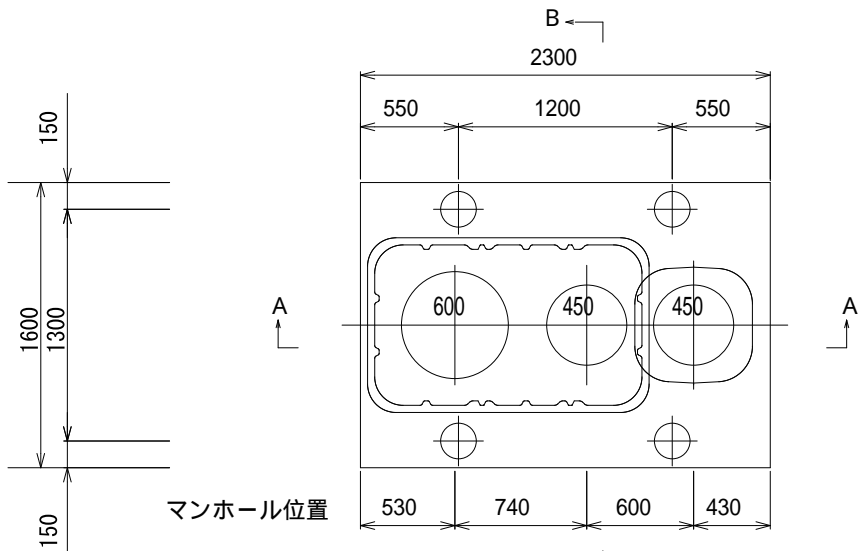
名 称	型 番 LIXIL	型 番 TOTO	1階				合 計
					トイレ		
洋風便器	BC-P20HM DT-PA250HCH	CS597BMCS SH596BAYR			1		1
洗浄便座	CW-PA11FLQD	TCF5534AU			1		1
棚付紙巻器	CF-63HST	YH701			1		1
小便器	U-A51MP	UFS900WR			1		1
洗面器	L-275FCR AM-300	L270C TEN41AW			1		1



トイレ (改修) 平面詳細図 S:1/50

注記

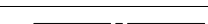



- \* 配管接続を示す。



仕様 (参考)	
型式	ネオセラ CNZ-S(D)
処理方法	担体流動接触ろ床循環方式
処理対象人員	5人
一人当り汚水量	0.2 m <sup>3</sup> /人・日
計画汚水量	1.0 m <sup>3</sup> /日
流入水BOD濃度	200 mg/L
放流水BOD濃度	20 mg/L
BOD除去率	90%以上
流入水T-N濃度	45 mg/L
放流水T-N濃度	20 mg/L
T-N除去率	56%以上
流入水SS濃度	160 mg/L
放流水SS濃度	15 mg/L
SS除去率	91%以上
蓋仕様	PP製 耐500kg
有効容量 (m <sup>3</sup> )	
① 好気ろ床槽	0.105
② 沈殿分離槽	0.432
③ 嫌気ろ床槽	0.528
④ 担体流動槽	0.205
⑤ 接触ろ床槽	0.040
⑥ 沈殿槽	0.083
⑦ 消毒槽	0.015
総容量	1.408
⑧ 放流ポンプ槽	0.060
電気機器仕様	
送風機	60L/分 (0.015MPa) 100V, 35W, 1台
放流ポンプ	40L/分 x 3.9m x 0.15kW x 2台 100V, フロートスイッチ付 自動交互運転

特記事項					
使用材料	コンクリート	FC＝21・18(15)・20(25) 但し、捨てコン・無筋コンクリートは FC＝18N/mm <sup>2</sup>			
	鉄筋	SD295A(規格品) 特記なき事項はJASS5による。			
配筋事項	継ぎ手・定着長さ	全て40dとする			
* 砕石厚サの条件 (本図は砕石100mmとする)					
地盤	土質	岩盤・土丹	砂礫・砂	シルト・粘土・ローム	
	N 値	N 10	N < 10	N 10	N < 2      N 2
地業 (砕石)	種 別	地はだ	砂利	砂利	砂利
	厚さ(mm)	100	100	60	150      60
地耐力	必要地耐力	40kN/m <sup>2</sup> (想定)			

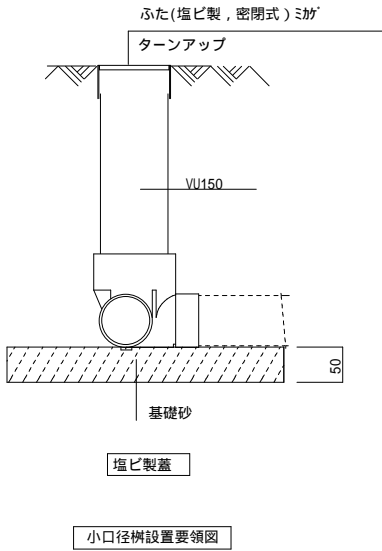
図 示 記 号

記 号	名 称
	給 水 管
	汚 水 管
	排 水 管
	ガ ス 管
	通 気 管

記 号	名 称
	給 水 栓
	フ ラ ッ シ ュ バ ル ブ
	ガ ス コ ッ ク
	弁 類
	床 上 掃 除 口
	排 水 金 物

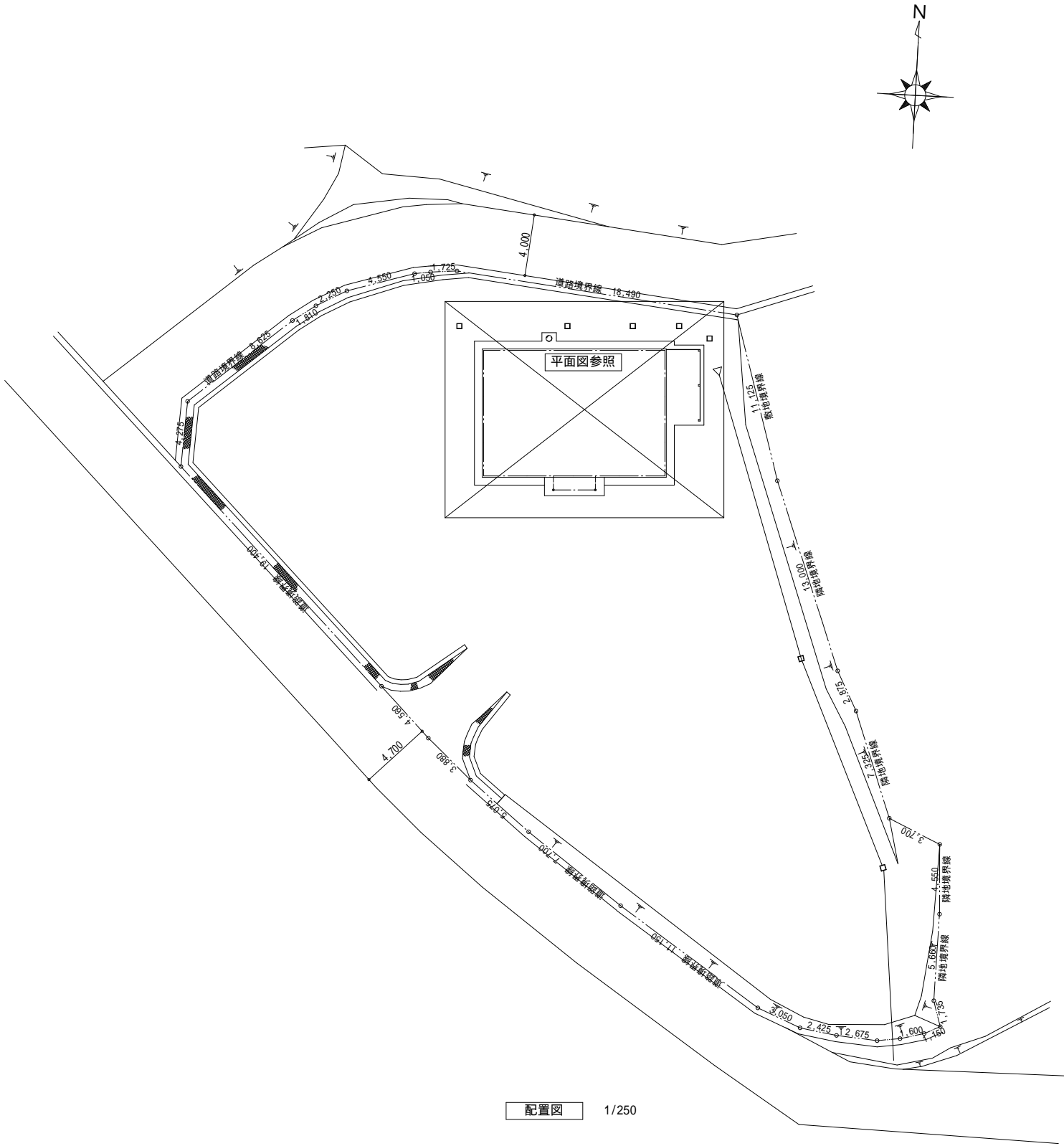
樹 仕 様

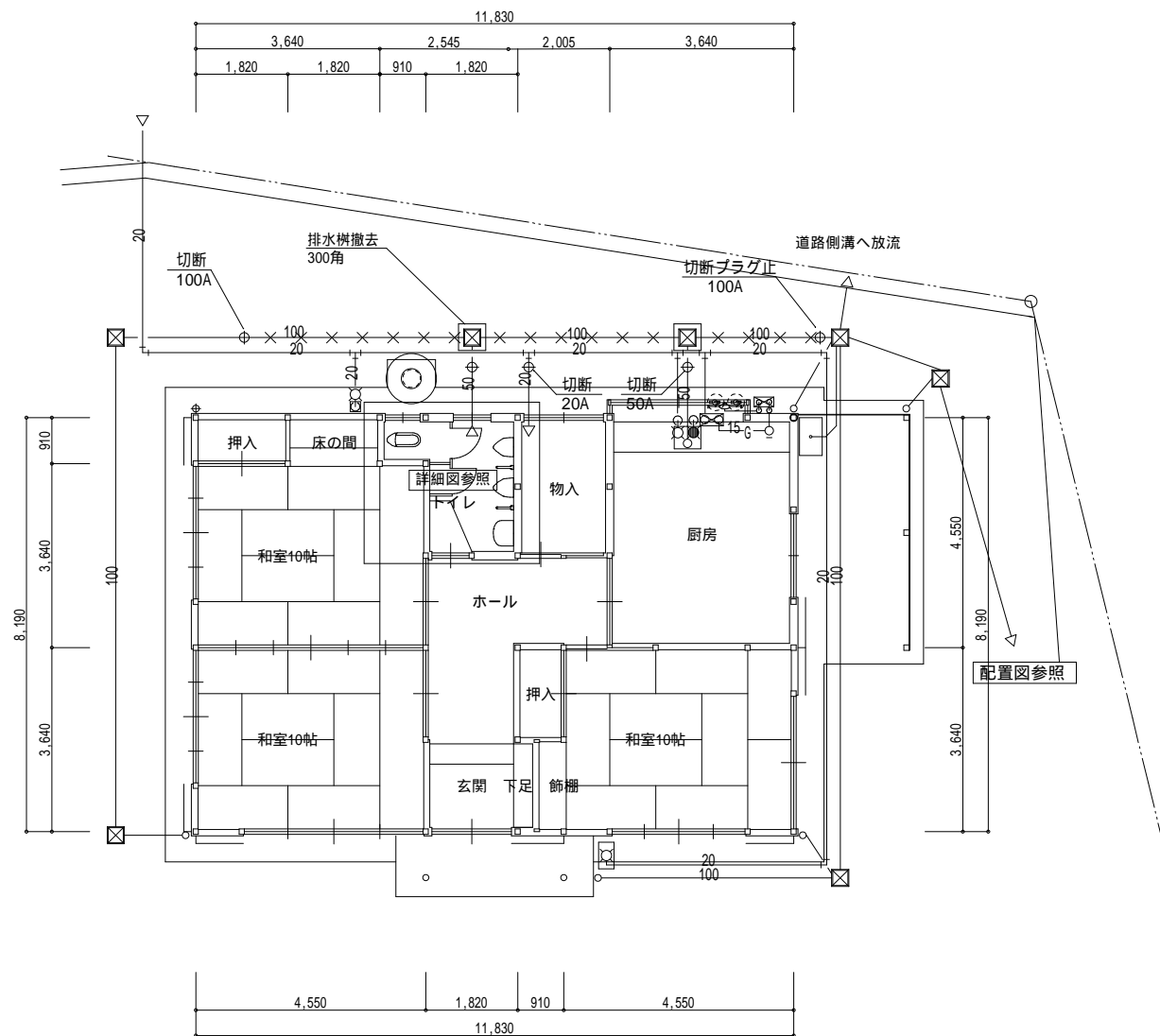
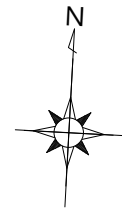
種 別	記 号	樹 寸 法	蓋 寸 法	備 考
小口径インバート樹	S-2	100	密 閉 型 150	記号 
小口径雨水樹	R-2	100	密 閉 型 150	記号 
コンクリート樹（既設）	R-3	300×300	簡 易 蓋	記号 
備考				



排水樹リスト

	記号	種類	管底深さ（GL-）	蓋種別	適用
	S-2	90L	-240	塩ビ蓋	曲り（起点）
	S-2	90Y	-270	塩ビ蓋	流入
	S-2	90L	-270	塩ビ蓋	
	R-2	90L	-300	塩ビ蓋	曲り
	R-2	90L	-310	塩ビ蓋	
	R-2	90Y	-330	塩ビ蓋	
	R-2	45L	-350	塩ビ蓋	





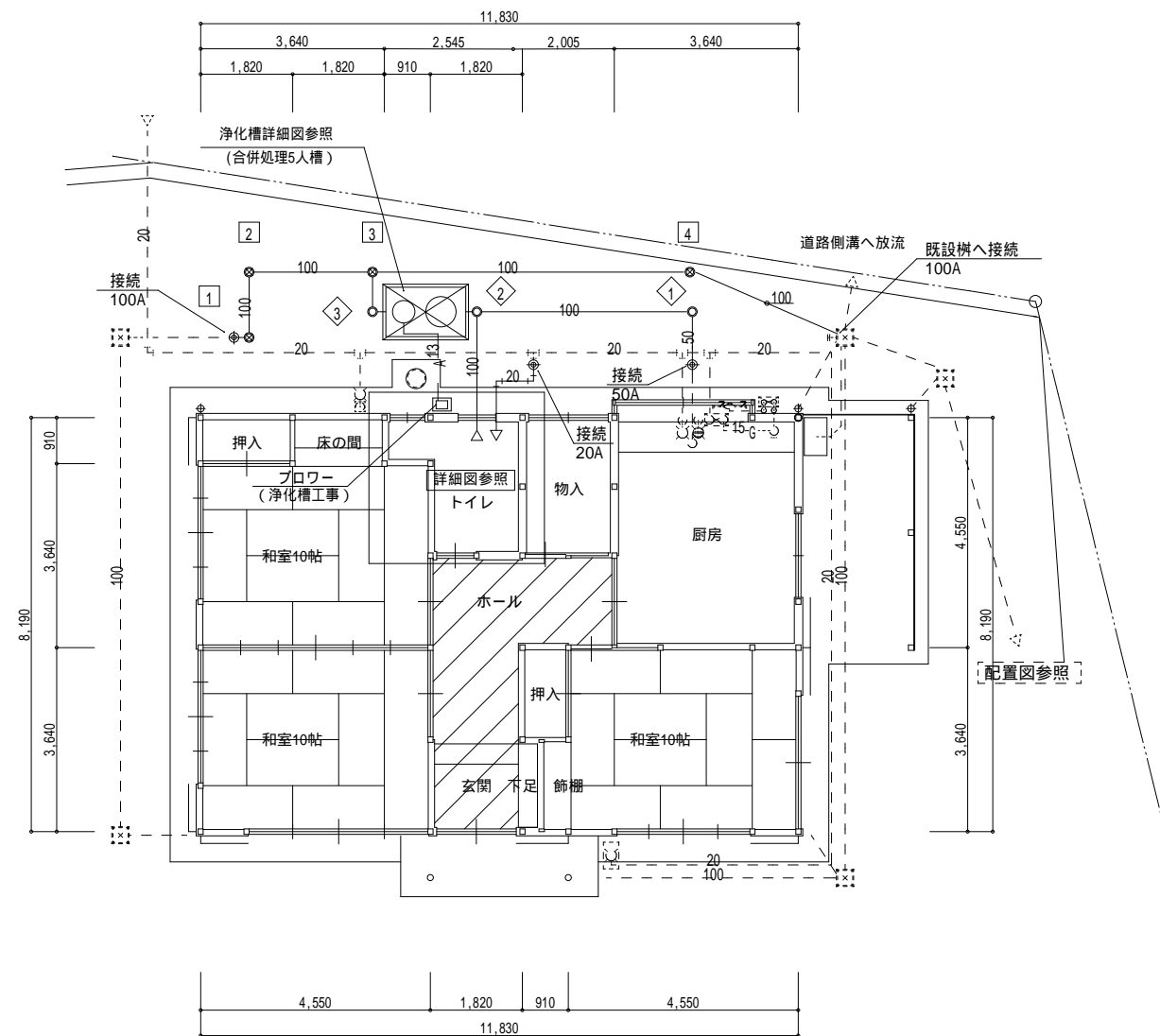
平面図（現況） S:1/100

注記

- \* 図中は既設配管を示す。
- \* φ 配管切断を示す。
- \* × × 配管撤去を示す。

配管切断リスト

屋外		数量
給水用銅管	20A	1
雑排水管	50A	2
通気立管	75A	1
雨水管	100A	2



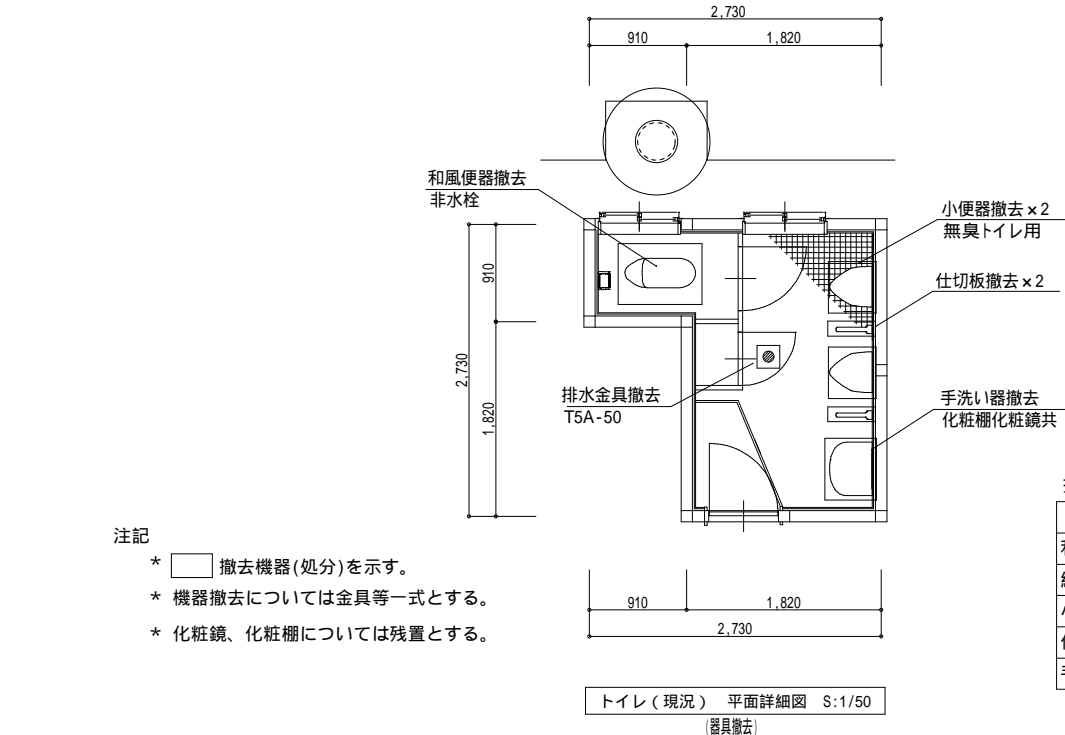
平面図（改修） S:1/100

注記

- \* 図中は既設配管を示す。
- \* φ 配管接続を示す。

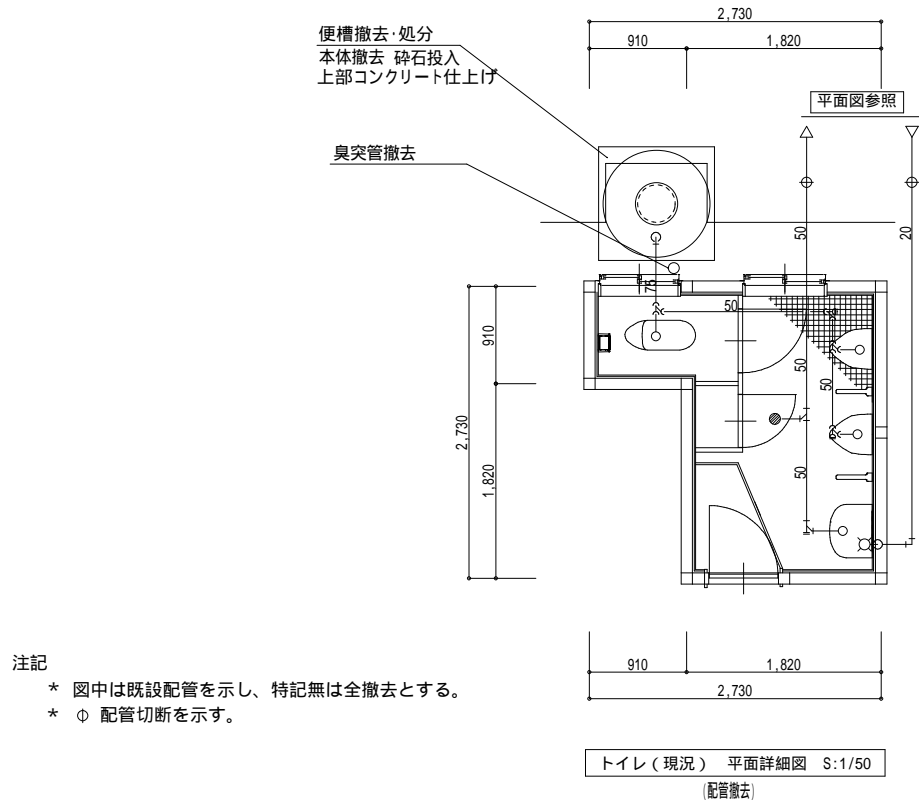
配管接続リスト

屋外		数量
給水用銅管	20A	1
雑排水管	50A	2
通気立管	75A	1
雨水管	100A	1

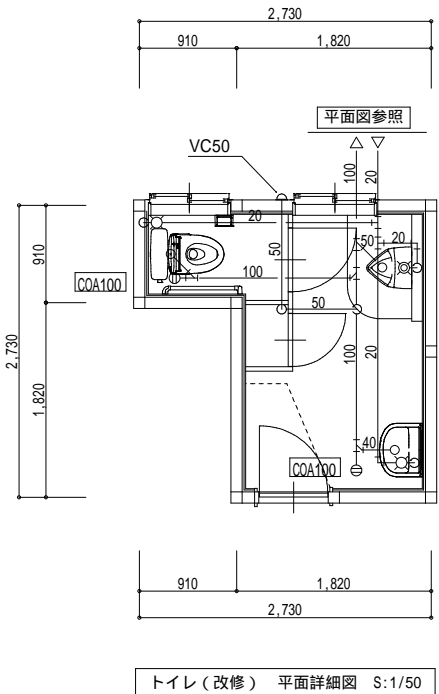


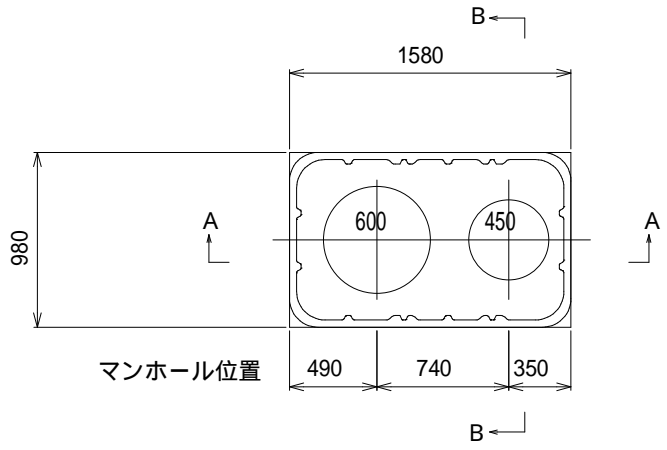
撤去器具表		
トイレ		数量
和風大便器	洗浄水栓	1
紙巻器		1
小便器	無臭トイレ用	2
仕切板		2
手洗い器	単水栓	1

衛生機器組合表 (参考)			1階				
名 称	型 番 LIXIL	型 番 TOTO			トイレ		合計
洋風便器	BC-P20HM DT-PA250HCH	CS597BMCS SH596BAYR			1		1
洗浄便座	CW-PA11FLQD	TCF5534AU			1		1
L型手すり	KF-920AE70D12J	T112CL10			1		1
棚付紙巻器	CF-63HST	YH701			1		1
小便器	U-A51MP	UFS90QWR			1		1
洗面器	L-275FCR AM-300	L270C TEN41AW			1		1

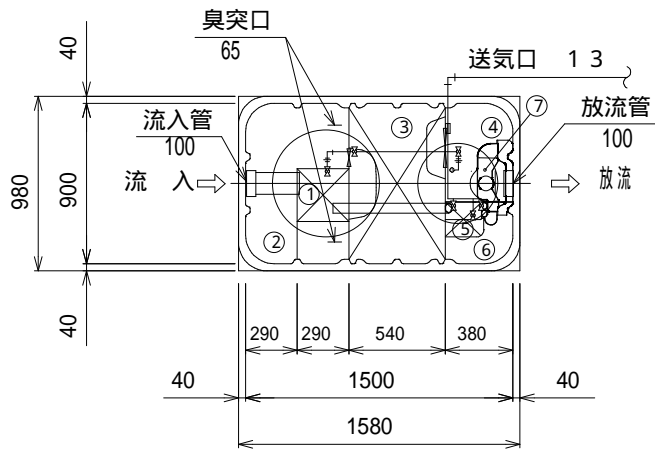


配管切断リスト		
トイレ		数量
給用水銅管	20A	1
雑排水管	50A	1
通気立管	75A	1

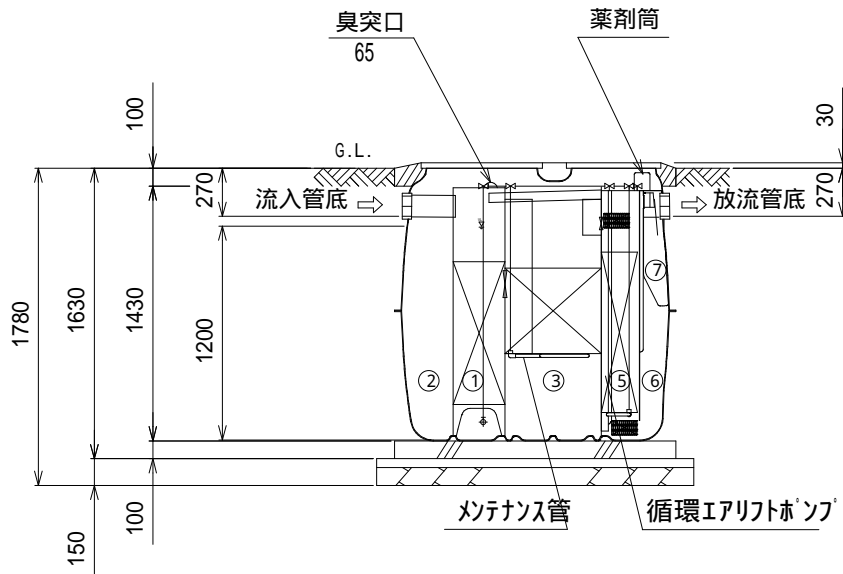




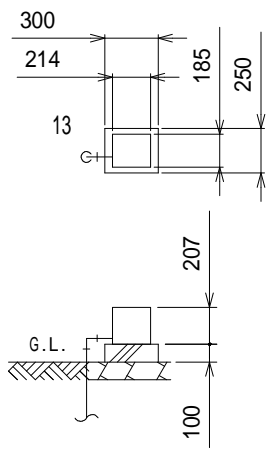
頂版開口図 S=1/30



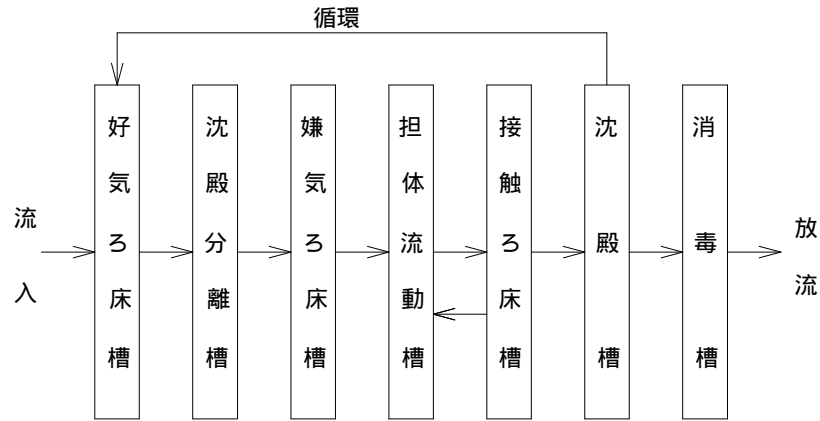
平面図 S=1/30



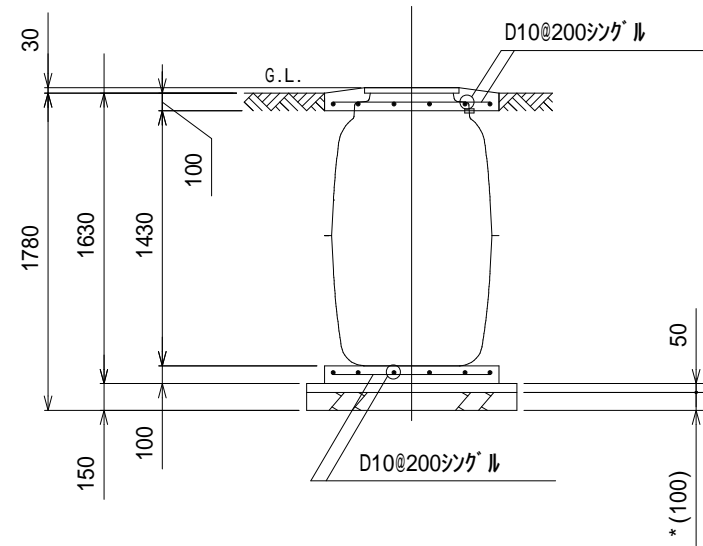
A-A 断面図 S=1/30



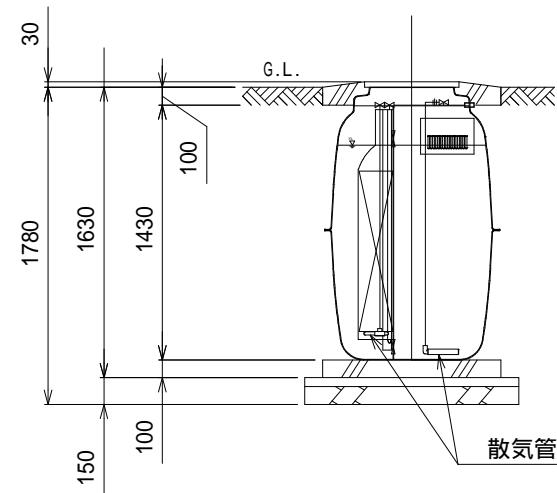
送風機平面断面図



フローシート S = 1 / 5 0



B-B 断面配筋図 S=1/30



B-B 断面図 S=1/30

(参考)

仕 様	
試 験	材料化 (NZ - 5)
処 理 方 法	担体流動接触ろ床循環方式
処理対象人員	5 人
一人当り汚水量	0 . 2 m <sup>3</sup> / 人・日
計画汚水量	1 . 0 m <sup>3</sup> / 日
流入水 B O D 濃度	2 0 0 m g / L
放流水 B O D 濃度	2 0 m g / L
B O D 除去率	9 0 % 以上
流入水 T - N 濃度	4 5 m g / L
放流水 T - N 濃度	2 0 m g / L
T - N 除去率	5 6 % 以上
流入水 S S 濃度	1 6 0 m g / L
放流水 S S 濃度	1 5 m g / L
S S 除去率	9 1 % 以上
蓋仕様	PP製 耐250kg
有 効 容 量 ( m <sup>3</sup> )	
① 好気ろ床槽	0 . 1 0 5
② 沈殿分離槽	0 . 4 3 2
③ 嫌気ろ床槽	0 . 5 2 8
④ 担体流動槽	0 . 2 0 5
⑤ 接触ろ床槽	0 . 0 4 0
⑥ 沈 殿 槽	0 . 0 8 3
⑦ 消 毒 槽	0 . 0 1 5
総 容 量	1 . 4 0 8
電 気 機 器 仕 様	
送 風 機	6 0 L / 分 ( 0 . 0 1 5 M P a )
	1 0 0 V , 3 5 W , 1 台

特記事項						
使用材料	コンクリート		FC = 21 - 18 ( 15 ) - 20 ( 25 ) 但し、捨てコン・無筋コンクリートは FC = 1 8 N / m m <sup>2</sup>			
	鉄筋		SD 2 9 5 A ( 規格品 ) 特記なき事項は J A S S 5 による。			
配筋事項	継ぎ手・定着長さ		全て 4 0 d とする			
＊ 砕石厚サの条件 ( 本図は砕石 1 0 0 mm とする )						
地 盤	土 質	岩盤・土丹	砂礫・砂		シルト・粘土・ローム	
	N 値	N 1 0	N < 1 0	N 1 0	N < 2	N 2
地 業 ( 砕石 )	種 別	地はだ	砂利	砂利	砂利	砂利
	厚さ ( mm )	1 0 0	1 0 0	6 0	1 5 0	6 0
地耐力	必要地耐力		40kN/m ( 想定 ) <sup>2</sup>			
その他	・積雪 1 m 以下の場所に設置して下さい。					
	・浄化槽の重量に耐える地盤に設置して下さい。					
	・地下水位に応じて浮上防止をして下さい。					
	・カサ上げが 3 0 0 mm を超えないようにして下さい。 本図はカサ上げ無しの施工図です。					
	・製品全高は、± 1 0 mm の公差があります。					
	・流入流出管底は、製品全高に対して ± 1 0 mm の公差があります。					
臭突管 ( 併設 ) について	・浄化槽全高は、本体板厚含む高さで表記。					
	・無荷重仕様					
	・設置場所が風通しが悪く臭気こもるような場合や放流ポンプ槽がある場合は、必ず臭突配管 ( または通気管 ) 工事をして下さい。					
	・詳細は、施工要領書を参照下さい。					



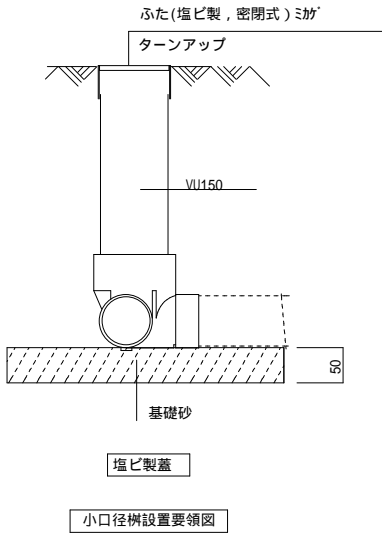
図 示 記 号

記 号	名 称
—— — — — —	給 水 管
—— — — — —	汚 水 管
—— — — — —	排 水 管
—— — G ———	ガ ス 管
- - - - -	通 気 管

記 号	名 称
⊠	給 水 柱
⊗	フ ラ ッ シ ュ バ ル プ
○+	ガ ス コ ッ ク
⌵ ⌵	弁 類
⊖	床 上 掃 除 口
⊙	排 水 金 物

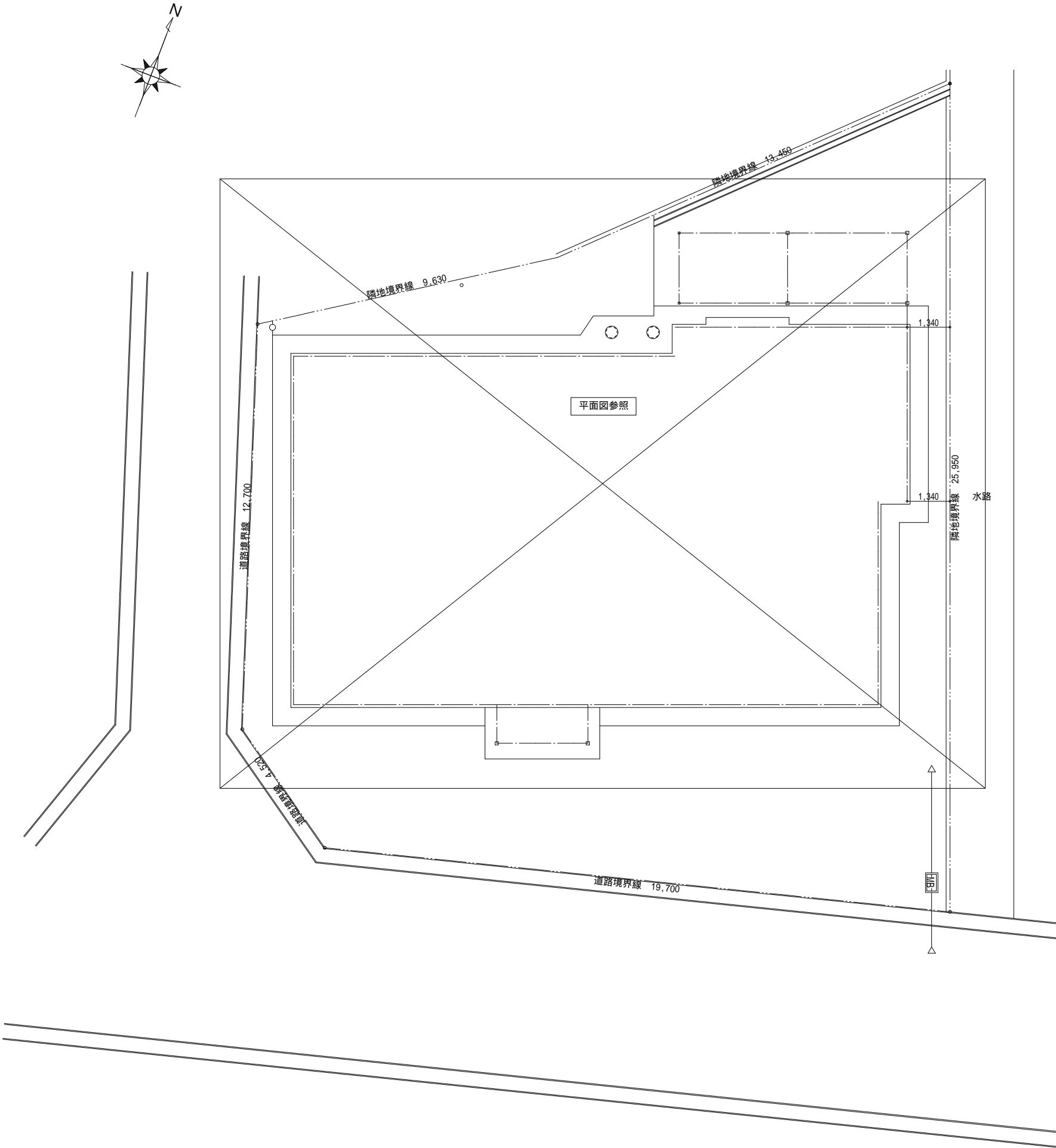
樹 仕 様

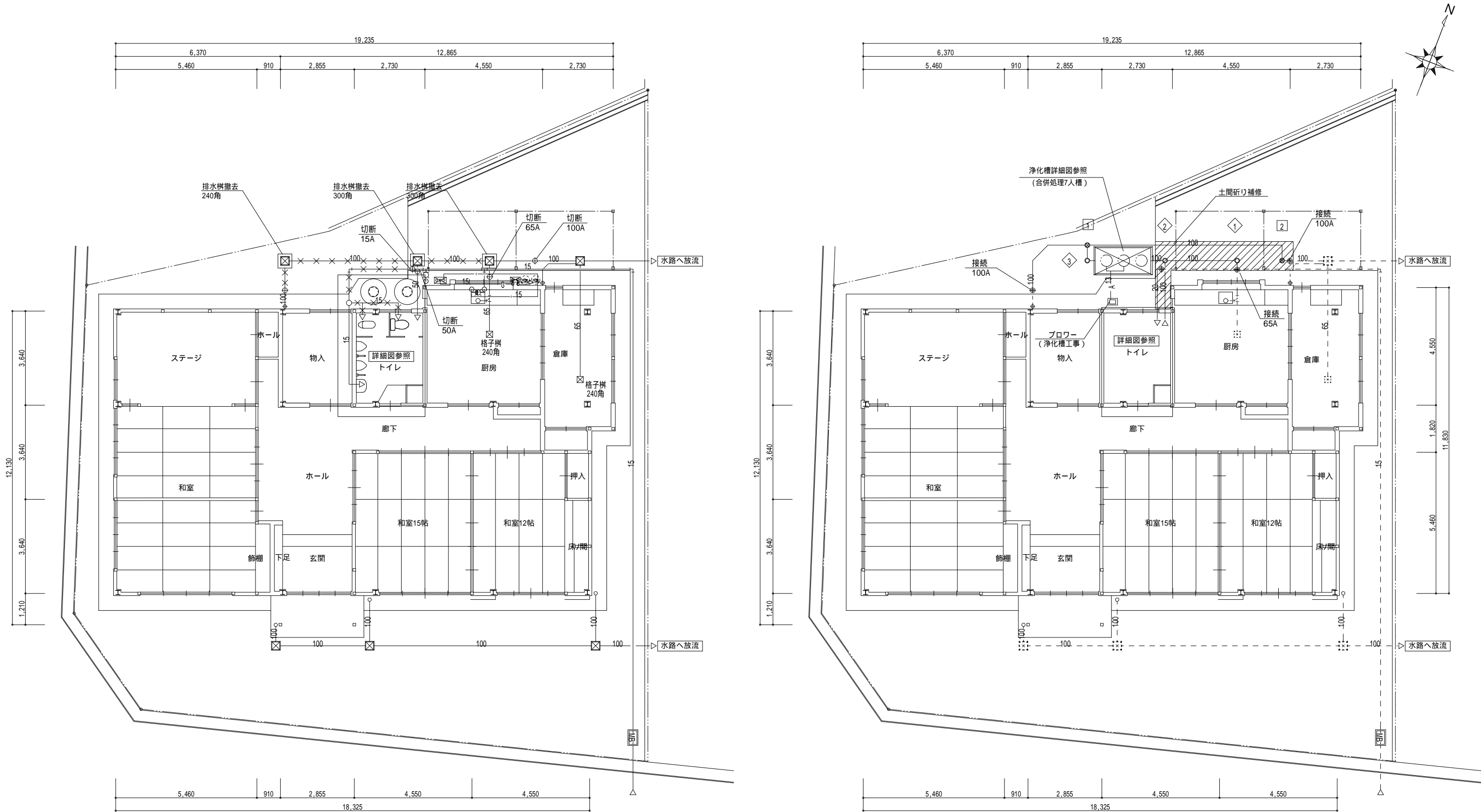
種 別	記 号	樹 寸 法	蓋 寸 法	備 考
小口径インバート樹	S-2	100	密 閉 型 150	記号
小口径雨水樹	R-2	100	密 閉 型 150	記号
コンクリート樹（既設）	R-3	300×300	簡 易 蓋	記号



排水樹リスト

	記号	種類	管底深さ（GL-）	蓋種別	適用
	S-2	90L	-390	塩ビ蓋	T付（起点）
	S-2	90Y	-420	塩ビ蓋	流入
	S-2	90L	-430	塩ビ蓋	
	R-2	90Y	-450	塩ビ蓋	曲り（起点）
	R-2	90L	-500	塩ビ蓋	






注記  
\* 図中は既設配管を示す。  
\* φ 配管切断を示す。  
\* × × 配管撤去を示す。

平面図（現況） S:1/100

配管切断リスト

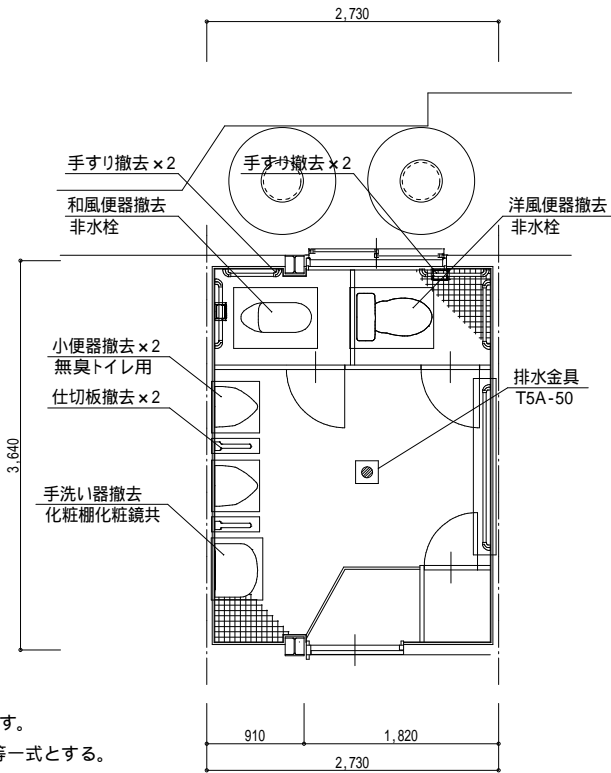
屋外		数量
給水用鋼管	15A	1
雑排水管	50A	1
雑排水管	65A	1
通気立管	75A	2
雨水管	100A	1

注記  
\*  土間はつり補修を示す。  
\* ⊕ 配管接続を示す。

平面図（改修） S:1/100

配管接続リスト

屋外		数量
給水用鋼管	15A	1
雑排水管	65A	1
雨水管	100A	2

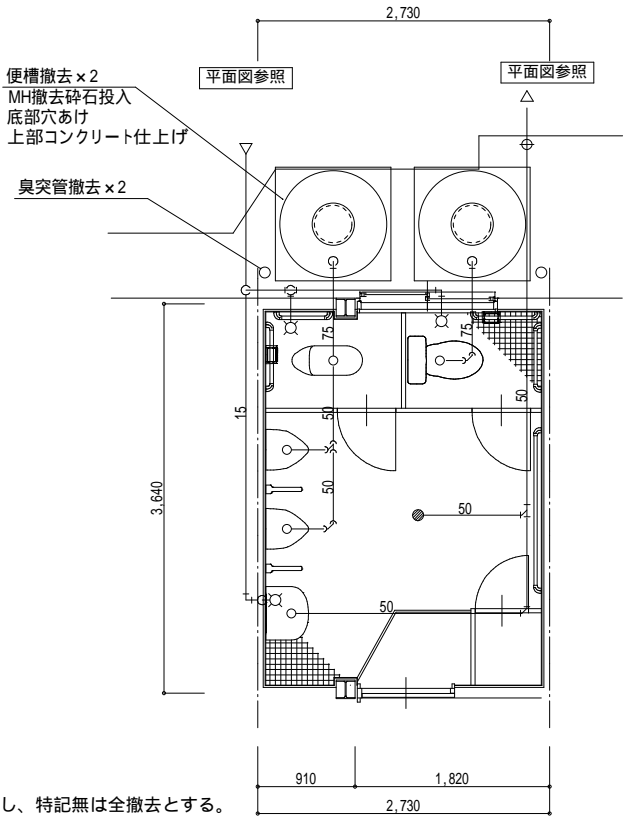


撤去器具表		
トイレ		数量
洋風大便器	洗浄水栓	1
和風大便器	洗浄水栓	1
I型手すり		5
紙巻器		2
小便器	無臭トイレ用	2
仕切板		2
手洗い器	単水栓	1
化粧棚		1
化粧鏡		1

衛生機器組合表 (参考)			1階					合計
名 称	型番 LIXIL	型番 TOTO			トイレ			
洋風便器	BC-P20HM DT-PA250HCH	CS597BMCS SH596BAYR			1			1
洗浄便座	CW-PA11FLQD	TCF5534AU			1			1
L型手すり	KF-920AE70D12J	T112CL10			1			1
棚付紙巻器	CF-63HST	YH701			1			1
小便器	U-A51MP	UFS900WR			2			2
洗面器	L-275FCR AM-300	L270C TEN41AW			1			1
化粧鏡	KF-4560A	YM4560F			1			1

注記  
\* 撤去機器(処分)を示す。  
\* 機器撤去については金具等一式とする。

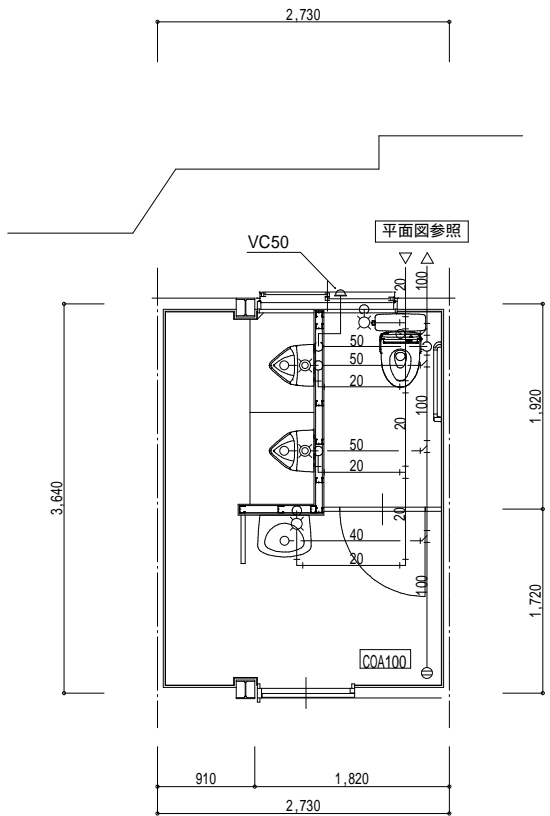
トイレ (現況) 平面詳細図 S:1/50  
(器具撤去)



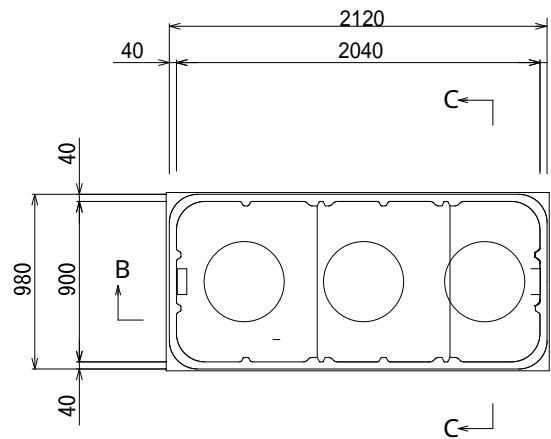
配管切断リスト		
トイレ		数量
給水用銅管	15A	2
雑排水管	50A	1
通気立管	75A	2

注記  
\* 図中は既設配管を示し、特記無は全撤去とする。  
\* φ 配管切断を示す。

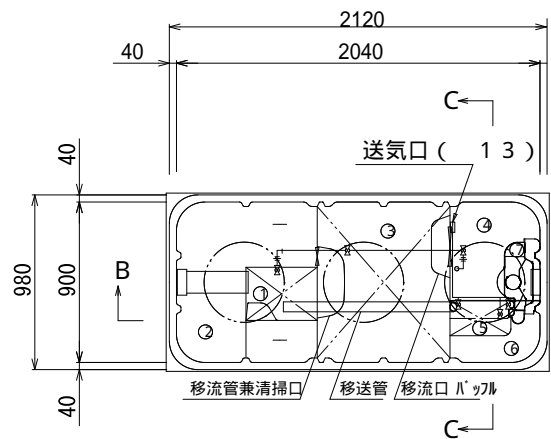
トイレ (現況) 平面詳細図 S:1/50  
(配管撤去)



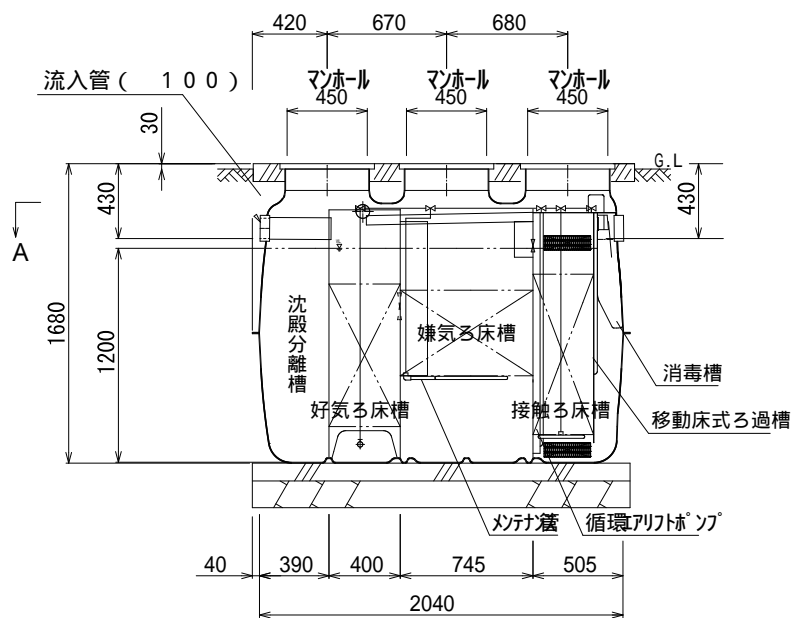
トイレ (改修) 平面詳細図 S:1/50



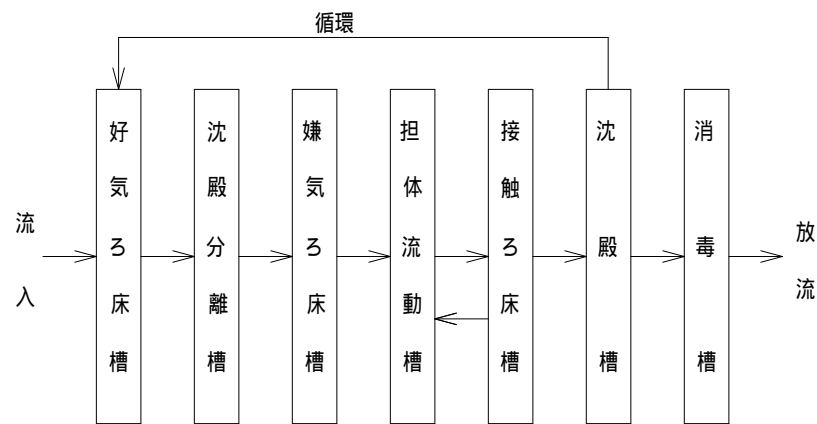
頂板開口図



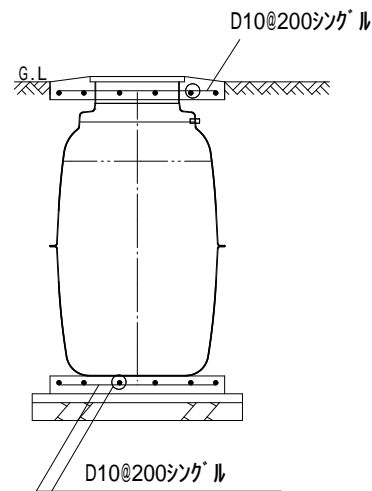
A - A 断面図



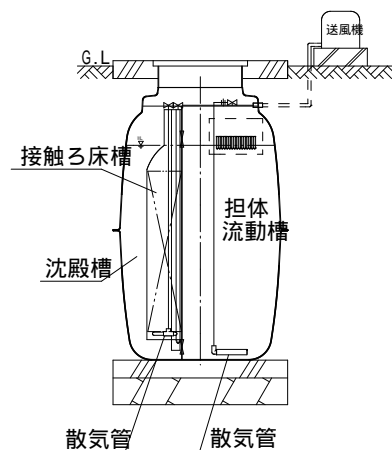
B - B 断面図



フローシート



C - C 断面配筋図



C - C 断面図

(参考)

仕様	
型式	水浄化ろ CNZ - 7
処理方法	担体流動接触ろ床循環方式
処理対象人員	7 人
一人当り汚水量	0 . 2 m <sup>3</sup> / 人・日
計画汚水量	1 . 4 m <sup>3</sup> / 日
流入水 BOD 濃度	2 0 0 mg / L
放流水 BOD 濃度	2 0 mg / L
BOD 除去率	9 0 % 以上
流入水 T - N 濃度	4 5 mg / L
放流水 T - N 濃度	2 0 mg / L
T - N 除去率	5 6 % 以上
流入水 S S 濃度	1 6 0 mg / L
放流水 S S 濃度	1 5 mg / L
S S 除去率	9 1 % 以上
蓋仕様	PP 製 耐 250kg
有効容量 m <sup>3</sup>	
① 好気ろ床槽	0 . 1 4 6
② 沈殿分離槽	0 . 6 0 5
③ 嫌気ろ床槽	0 . 7 3 8
④ 担体流動槽	0 . 2 8 5
⑤ 接触ろ床槽	0 . 0 5 6
⑥ 沈殿槽	0 . 1 1 2
⑦ 消毒槽	0 . 0 1 5
総容量	1 . 9 5 7
電気機器仕様	
送風機	8 0 L / 分 ( 0 . 0 1 5 M P a )
	1 0 0 V , 4 8 W , 1 台

特記事項						
使用材料	コンクリート		F C = 2 1 - 1 8 ( 1 5 ) - 2 0 ( 2 5 ) 但し、捨てコン・無筋コンクリートは F C = 1 8 N / m m <sup>2</sup>			
	鉄筋		S D 2 9 5 A ( 規格品 ) 特記なき事項は J A S S 5 による。			
配筋事項	継ぎ手・定着長さ		全て 4 0 d とする			
* 砕石厚サの条件 ( 本図は砕石 1 0 0 m m とする )						
地 盤	土 質	岩盤・土丹	砂礫・砂		シルト・粘土・ローム	
	N 値	N 1 0	N < 1 0	N 1 0	N < 2	N 2
地 業 ( 砕石 )	種 別	地 は だ	砂 利	砂 利	砂 利	砂 利
	厚さ (mm)	1 0 0	1 0 0	6 0	1 5 0	6 0
地耐力	必要地耐力		4 0 k N / m ( 想定 ) <sup>2</sup>			
その他	・ 施工時に地質、地下水位を調査し、地耐力を確認して下さい。					
	・ 車両等の重量に耐える地盤に設置して下さい。					
	・ 地下水位に応じて浮上防止をして下さい。					
	・ カサ上げが 3 0 0 m m を超えないようにして下さい。					
	本図はカサ上げ 3 0 0 m m 付の施工図です。					
	・ 直接浄化槽にタイヤが乗らないよう浄化槽マンホールの真上に 車両を停車して下さい。					
	・ 駐車車両は、総重量 6 T 以下の車両となります。					
	・ 製品全高は、 ± 1 0 m m の公差があります。					
臭突管 (排気管) について	・ 流入流出管底は、製品全高に対して ± 1 0 m m の公差があります。					
	・ 浄化槽全高は、本体板含む高さで表記。					
	・ 設置場所が風通しが悪く臭気こもるような場合や放流ポンプ槽がある場合は、必ず臭突配管 (または通気管) 工事をして下さい。					
	・ 詳細は、施工要領書を参照下さい。					